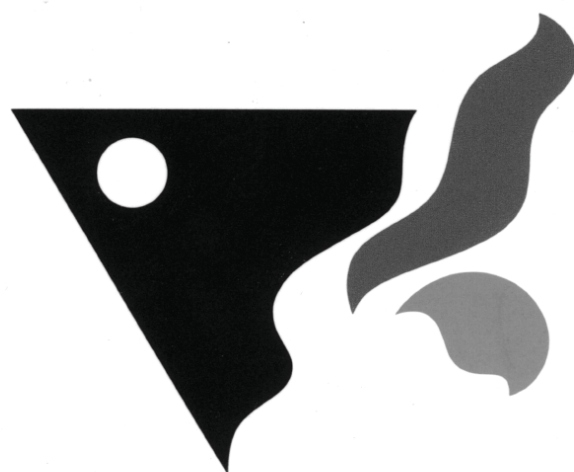


# 食品衛生検査所事業概要

平成27年度



**YOKOHAMA MARKET**

横浜市場

横浜市中心卸売市場

本場食品衛生検査所



## はじめに

平素から本市の食品衛生行政の推進にあたり、御理解と御協力をいただき厚く御礼を申し上げます。

さて、平成27年度は、他都市でのイベントにおいて加熱不十分な食肉を原因とする大規模なカンピロバクター食中毒や、冷凍メンチによる複数の自治体にまたがる腸管出血性大腸菌 <sup>オー</sup>O157 食中毒（散発的集団発生）などが発生し、あらためて基本的な細菌性食中毒に対する衛生管理の重要性を再認識させられた年でもありました。

また、最近の食品衛生行政の動向といたしましても、食品表示法における生鮮食品に関する部分の経過措置が終了し、新たな食品表示のルールが本格的にスタートすると共に、神奈川県ふぐ取扱い及び販売条例が見直され、一定のルールの下、事業者の皆様におけるふぐの取扱いの幅が広がる（有毒部位が完全に除去された身欠きふぐをふぐ加工製品として取扱う）等の法令改正もございました。

こうした状況を踏まえ、中央卸売市場本場食品衛生検査所では、今後も市場関係者の皆様と密な連携と御協力をいただき、計画的に監視及び検査を実施し、違反・不良食品の発見排除、消費者や事業者の皆様役に役立つ食品衛生情報の発信・普及啓発に努め、市場を流通する食品の安全・安心の確保を図ってまいりたいと考えております。

このたび、本市場食品衛生検査所の平成27年度事業概要を作成しましたので参考としていただければ幸いです。

平成29年1月

横浜市中心卸売市場

本場食品衛生検査所長

村上 哲治

## 目 次

### 第1 総説

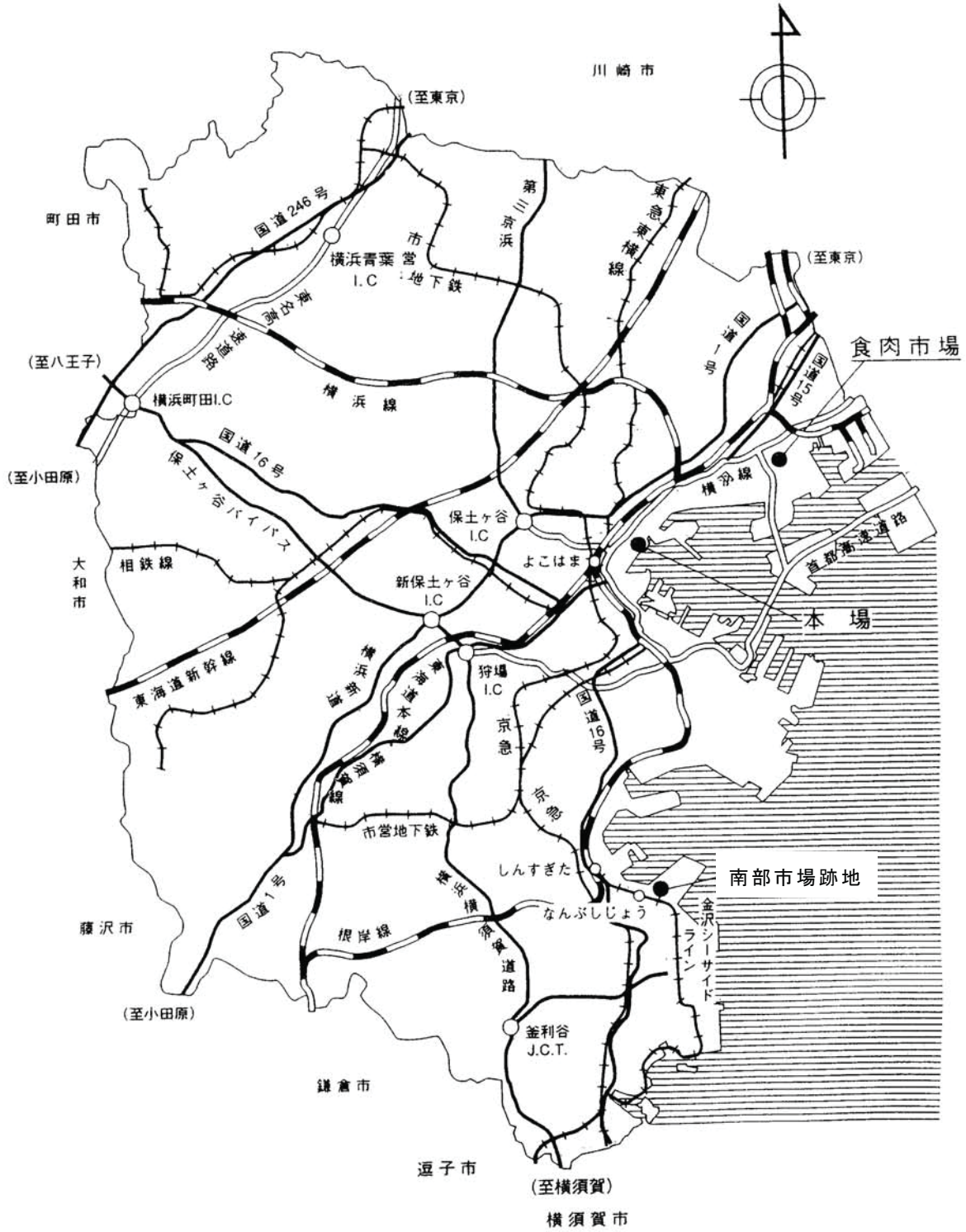
1 沿革	1
2 市場の概要	2
(1) 面積	2
(2) 取扱量の推移	2
(3) 場内業者の内訳	3
3 市場及び検査所平面図	4
(1) 中央卸売市場本場	4
(2) 南部市場跡地	5
4 横浜市における市場食品衛生検査所の位置づけ	6
5 検査所職員内訳	6
6 検査所の業務について	7
7 主要試験検査機器一覧	8

### 第2 業務実績

1 業務実績	9
2 平成27年度主要業務一覧	12
3 平成27年度監視業務実績	13
4 平成27年度食品別検査状況	14
5 食品分類別・項目別検査状況	15
(1) 理化学検査実施数	15

(2) 細菌検査実施数	16
(3) 食品中の放射性物質	17
(4) 残留農薬	32
(5) 防ばい剤	37
(6) 抗生物質、合成抗菌剤、内寄生虫用剤	38
(7) 水銀	39
(8) PCB	40
(9) 貝毒	41
(10) ふぐ毒及び魚種鑑別	41
6 違反食品等一覧	42
7 相談対応	42
8 衛生教育実施結果	42
9 その他の業務	42
～市場食品衛生検査所関係年表～	43

# 横浜市中央卸売市場位置図





# 第1 総説



本場全景



南部市場跡地  
全景





# 1 沿革

- 昭和 6年 中央卸売市場本場開場(市人口65万人、対象100万人)。
- 22年 (2月) 神奈川県が横浜市内に中央卸売市場監視室を設置、食品衛生監視員2名が駐在。
- 25年 (4月) 横浜市に食品衛生事務が委譲される。  
(5月) 神奈川保健所分室食品衛生検査室発足、同保健所から食品衛生監視員4名を派遣駐在。
- 45年 (9月) 衛生局公衆衛生課所轄の食品衛生検査所となる(8名配置)。
- 48年 10名配置となる。  
(10月) 中央卸売市場南部市場食品衛生検査所設置。  
(11月) 中央卸売市場南部市場開場、同時に南部市場食品衛生検査所業務開始(6名配置)。
- 49年 南部市場食品衛生検査所10名配置となる。
- 53年 (4月) 14年計画の「本場再整備事業」開始。
- 60年 (1月) 同計画の一部が終了、本場食品衛生検査所新庁舎完成。
- 61年 (6月) 中央卸売市場本場食品衛生検査所が衛生局保健部所轄となる。  
同所長が行政権限の大幅な委任を受けるとともに、南部市場食品衛生検査所を統轄。
- 平成 2年 (6月) 機構改革にともない衛生局保健部が分割され、生活衛生部が設置される。  
生活衛生部所轄となる。
- 5年 (7月) 本場食品衛生検査所に食品監視機動班(3名)が設置される。
- 6年 (7月) 機構改革にともない、南部市場食品衛生検査所が課制となり、生活衛生部所轄となる。
- 11年 (4月) 機構改革にともない、本場食品衛生検査所内の機動班が廃止され、新たに食品専門監視班として食品衛生課に設置される。
- 18年 (4月) 機構改革にともない、健康福祉局健康安全部所轄となる。
- 19年 (4月) 機構改革にともない、健康福祉局健康安全部が市保健所を兼ねる。
- 27年 (3月) 中央卸売市場南部市場の中央卸売市場としての廃止とともに、南部市場食品衛生検査所を閉所。本場食品衛生検査所と統合。

## 2 市場の概要

### (1)面積

区 分	本 場
敷地面積	106,211㎡
建物延面積	131,789㎡
卸売部	16,027㎡
青果部	9,137㎡
水産物部	5,280㎡
鳥卵部	260㎡
低温	(1,350㎡)
仲卸部	3,593㎡
青果部	1,353㎡
水産物部	2,240㎡
関連事業者店舗	1,706㎡
倉 庫	1,650㎡
買荷保管所	2,160㎡
冷 蔵 庫	10,539㎡
配送センター	3,095㎡
駐 車 場 (台数)	1,623台

注)施設面積は、使用指定・許可面積 (平成28年4月1日現在)

### (2)取扱量の推移

単位 (t)

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
本場	青果	358,834	366,447	368,127	359,915	371,573
	水産	56,188	52,928	50,351	46,834	57,435
南部 跡地	青果	117,791	114,659	91,508	109,325	
	水産	27,626	25,281	20,780	15,711	

南部市場は平成27年4月以降、卸売業者・仲卸業者・売買参加者が本場で取引した物品の受け渡しを行い、本場を補完する加工・配送、流通の場として活用されています。

#### ・市場外指定保管場所 (卸売市場法第39条、横浜市中心卸売市場業務条例第42条)

卸売業者からの申請に基づき市長が市場外指定保管場所として指定します。市場外指定保管場所とは、産地から物品を、市場を経由しないで直接受け渡しできる場所です。

#### ・市場外施設 (横浜市中心卸売市場業務条例第49条)

仲卸業者は開設者に届け出れば、市場外に貯蔵・保管・仕分け・配送等の場所を設置することができます。市場外施設では、買い手から注文があった物品を受け渡すことができます。

## (3)場内業者の内訳

	本場
水産物部	
卸売業者	2
仲卸業者	67
青果部	
卸売業者	2
仲卸業者	30
鳥卵部	
卸売業者	1
関連事業者	
食料品卸売業	13
買荷保管業	1
運送業	3
倉庫業	2
加工業	3
飲食営業	14
必需品販売業	4
金融業	1
理容業	1

(平成28年4月1日現在)

## [食品衛生法による分類]

営 業 の 種 類	対象施設		
	本場	南部 跡地	
飲 食 店	自動販売機	23	5
	そ の 他	0	18
菓 子 製 造 業		1	1
魚 介 類 販 売 業		115	43
魚 介 類 せ り 売 営 業		2	0
魚 肉 ね り 製 品 製 造 業		1	0
食 品 の 冷 凍 又 は 冷 蔵 業		13	10
喫 茶 店	自動販売機	19	10
	そ の 他	0	0
乳 類 販 売 業	自動販売機	9	2
	そ の 他	0	5
食 肉 処 理 業		1	1
食 肉 販 売 業		15	9
そ う ざ い 製 造 業		6	0
ソ ー ス 類 製 造 業		0	0
氷 雪 製 造 業		1	0
氷 雪 販 売 業		1	1
魚 介 類 行 商		7	10
魚 介 類 加 工 業		8	4
発 酵 乳 等 販 売 業		2	1
事 業 所 給 食 施 設		1	0
野 菜 果 物 販 売 業		42	29
菓 子 販 売 業		1	11
食 品 販 売 業		38	30
食 品 製 造 業		4	4
そ う ざ い 販 売 業		1	9
弁 当 類 販 売 業		1	1
酒 類 販 売 業		0	2
器 具 ・ 容 器 包 装 ・ お も ち や 製 造 販 売 業		4	5
合 計		316	212

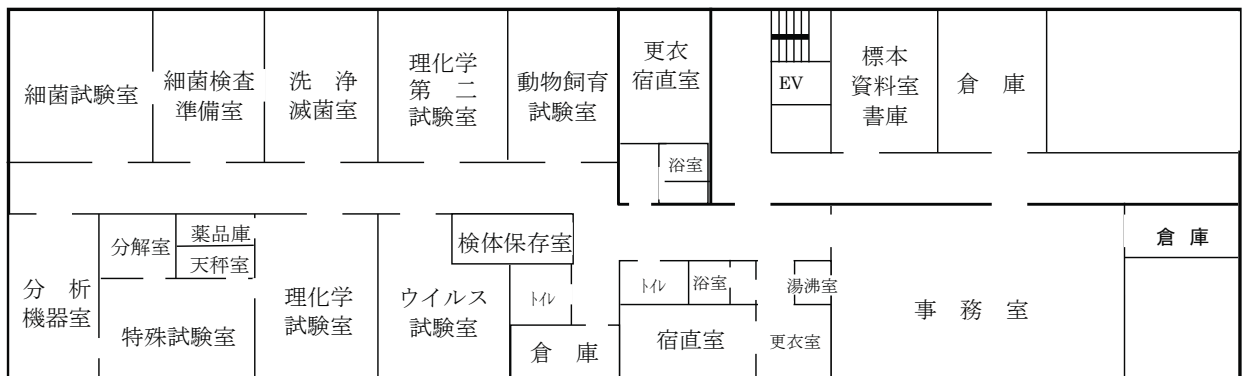
(平成28年4月1日現在)

### 3 市場及び検査所平面図

中央卸売市場本場 平面図



中央卸売市場本場食品衛生検査所 総面積744.0㎡

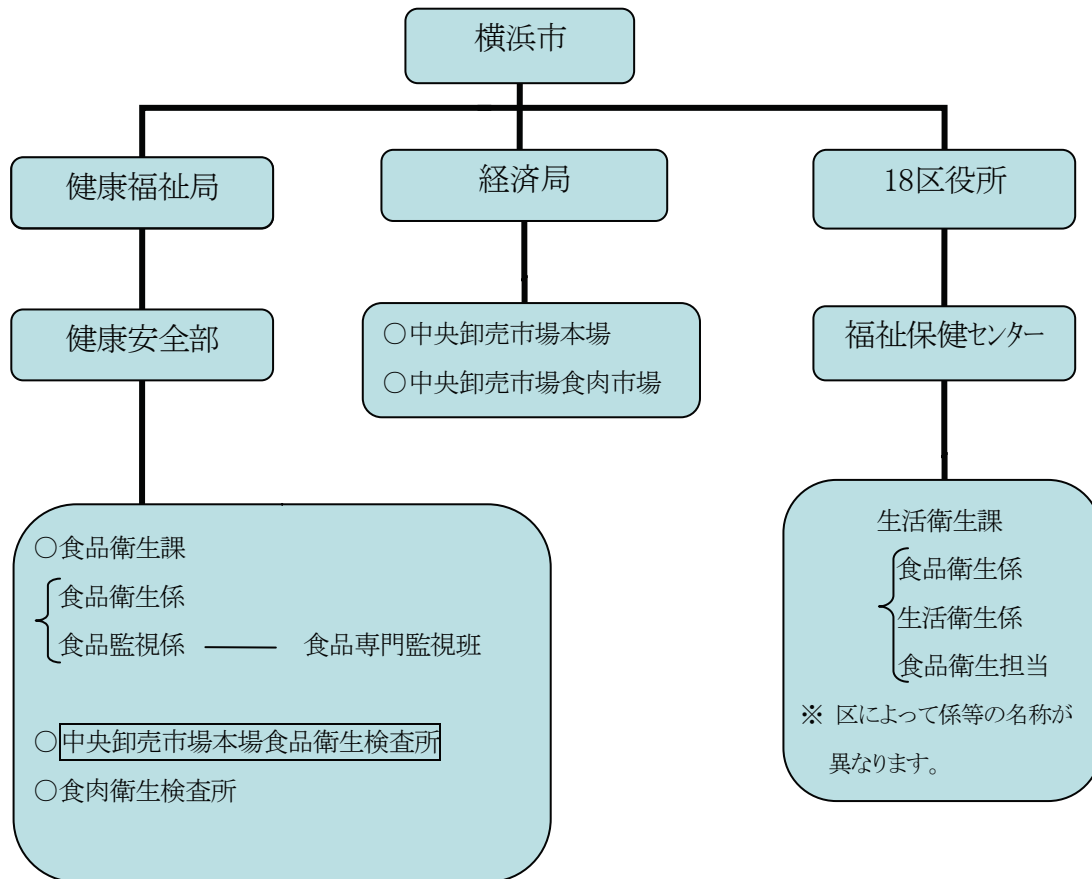




## 4 横浜市における市場食品衛生検査所の位置づけ

横浜市には、中央卸売市場として本場、食肉市場があり、いずれも横浜市経済局が運営しています。

これらの市場には、それぞれ食品の衛生確保を図るために食品衛生検査所等(以下「検査所」という。)が設置され、各市場を経由し市中に流通する食品の検査を行っています。検査所は、横浜市健康福祉局健康安全部に属しており、食品の安全・衛生を確保する各区の福祉保健センターと連携して市場内の監視と検査を分担しています。



## 5 検査所職員内訳

総数	所長	係長	食品衛生監視員			事務
			理化学	細菌	病理寄生虫等	
17	1	2	7	5	1	1

(平成28年4月1日現在)



## 6 検査所の業務について

現在、早朝勤務と通常勤務の二体制で業務を行っています。

### (1) 早朝勤務

「せり」の前に、せり場において監視指導及び収去を主な業務としています。

2名一組で、週3～4回実施していて、検査所における収去の大部分は、この早朝勤務で行っています。

せり終了後は、仲卸業者、関連業者に対して監視指導を行っています。

早朝勤務の主な業務内容は次のとおりです。

- ア 食品等取扱の監視及び指導
- イ 食品等の表示点検
- ウ 貝類等が各種規制に適合しているかの調査
- エ 有毒魚等の排除
- オ 食品の収去

### (2) 通常勤務

始業時のミーティングにおいて、早朝勤務の報告や一日の方針などの打合せを行った後、場内巡回による監視指導等を行い、検査業務に移ります。

通常勤務の主な業務内容は次のとおりです。

- ア 仲卸業者、関連業者、行商作業場その他場内全般について、前記(1)ア～オの業務
- イ 場内関係者との打合せ及び各種業務連絡
- ウ 検査業務
  - (ア)細菌検査
  - (イ)理化学検査
  - (ウ)病理寄生虫検査
- エ 検査成績書の作成・交付
- オ 違反品・不良品等の処理
- カ 苦情・各種衛生相談等問合せの処理
- キ 場内店舗の許可調査
- ク 講習会等の開催

## 7 主要試験検査機器一覧

	品名	数量
細菌	電気ふらん器	7
	嫌気性培養装置	1
	超音波洗浄器	1
	顕微鏡	2
	顕微鏡撮影装置	2
	スタマッカー	2
	システムダイリユーター	4
	ホモジナイザー	2
	冷蔵庫(培地保存用)	5
	高圧滅菌器(ガス式)	3
	高圧滅菌器(電気式)	3
	ウォーターバスインキュベーター	2
	乾熱滅菌器	2
	電子上皿天秤	2
	超音波ピペット洗浄器	2
	ウォーターバス	2
	コロニーカウンター	3
	デジタルカウントペン	2
	ドライイングシェルフ	1
	試験管ミキサー	4
	純水製造装置	1
	オートデンケーター	2
	クリーンベンチ	1
	高速遠心分離器	2
	PCR用機材一式	1
	Real-Time PCR用機材一式	1
超低温フリーザー	1	
pHメーター	1	
病理・寄生虫	顕微鏡	1
	実体顕微鏡	1
	顕微鏡撮影装置	1
その他	冷蔵庫	1
	冷凍庫	5
	スライドプロジェクター	1
	赤外線温度計	6

	品名	数量
理化	超高速ホモジナイザー	4
	試験管ミキサー	1
	フードプロセッサー ロボクープミキサー	1
	フードプロセッサー クイジナートミキサー	1
	トリオブレンダー	2
	電子上皿天秤	5
	天秤台(除振台)	2
	超音波ピペット洗浄器	1
	マッフル炉	1
	電気定温乾燥器	2
	ボトルキャビネット	5
	デンケーター	4
	薬用冷蔵庫	2
	冷凍冷蔵庫	1
	フリーザー	1
	アスピレーター	3
	吸引マニホールド	3
	遠心分離器	2
	シェーカー	1
	ロータリーエバポレーター	6
	コンプレッサー	1
	低温循環水槽	3
	水蒸気発生装置	3
	超音波洗浄器	2
	生物環境調節装置	1
	ガラス電極 pHメーター	1
分光光度計	1	
水銀分解装置	1	
水銀分析装置	1	
紫外線照射器	1	
電気泳動装置	1	
学	ガスクロマトグラフ質量分析計	2
	高速液体クロマトグラフ	1
	高速液体クロマトグラフ質量分析計	1
	シンチレーションサーベイメータ	1
	ガンマ線核種分析システム	1
スーパーシールド遮へい缶	1	

## 第2 業務実績



細菌検査業務

理化学検査



監視業務



# 1 業務実績

## (1) 監視指導業務

中央卸売市場本場食品衛生検査所では、早朝監視及び通常監視を行っています。早朝監視は、せり売り開始前の午前3時すぎから2名の食品衛生監視員が、有毒有害魚介類及び違反・不良食品の排除並びに生食用貝類の温度測定等を行っています。通常監視は、せり売りされた食品が仲卸店舗や市場内外の関連施設に移動した段階で、これら食品の取扱い及び保管状況等の監視指導を行っています。

平成27年度は、両市場内528施設に対し、延べ14,370件の監視指導を実施しました。(P.13)

毎年、高温多湿となる6月1日から8月31日までを『夏期食品等一斉点検期間』、食品の流通量が増加する11月1日から12月30日までを『年末食品等一斉点検期間』に設定し、食中毒の予防、不良食品の排除及び適正表示の徹底を目的とした、監視指導及び収去検査を実施しています。

平成27年度の主要業務 (P.12)

## (2) 検査業務

平成27年度の中央卸売市場本場における農産物の年間取扱量は、約37万トン、水産物は約6万トンでした。(P.2)

これらの食品について、月別、品目別に年間計画に基づき、理化学検査及び細菌検査を行いました。1,831検体の食品等を収去し、理化学検査を28,118項目、細菌検査を3,482項目、表示検査を382項目、計31,982項目の検査を実施しました。なお、魚介類のPCBの検査については、市衛生研究所に検査を依頼して実施しました。

また、市内のスーパー、コンビニエンスストア等で販売されているそうざい、洋生菓子や各種食品製造工場の製品等について、福祉保健センター及び食品専門監視班から587検体の検査依頼により、理化学検査8,403項目、細菌検査792項目、計9,195項目の検査を実施しました。

この他、信頼性確保のための精度管理79検体106項目の検査を実施しました。

(P.14)

## ア 理化学検査

### (ア) 食品添加物

保存料、着色料、発色剤等の食品添加物が適正に使用され、かつ適正に表示されているか、検査を実施し、草大福1検体で表示に無い着色料を検出しました。(P.15、42)

### (イ) 放射性物質

福島原発事故の影響を受けて、市内を流通する食品中の放射性物質の核種分析検査を実施しています。市場流通水産物248検体、農産物82検体、量販店等流通販売品71検体、学校給食食材13検体の検査を実施しましたが、基準値を超えるものはありませんでした。(P.17～31)

### (ウ) 残留農薬

有機塩素系・有機リン系・ピレスロイド系等の農薬検査を実施しました。国産農産物145検体、輸入農産物11検体の検査を実施しましたが、残留基準値を超えるものはありませんでした。(P.32～36)

(エ) 防ばい剤

輸入果実類のレモン、オレンジ、グレープフルーツなど計6検体について検査を実施しましたが、使用基準値を超えるものはありませんでした。(P. 37)

(オ) 抗生物質・合成抗菌剤・内寄生虫用剤

魚介類、鶏卵など計38検体について検査を実施しましたが、すべて不検出でした。(P. 38)

(カ) 水銀

魚介類45検体の検査を実施しましたが、暫定的規制値(総水銀として0.4ppm)を超えるものはありませんでした。(P. 39)

(キ) PCB

魚介類10検体の検査を実施しましたが、暫定的規制値(遠洋沖合魚介類0.5ppm、内海内湾魚介類3ppm)を超えるものはありませんでした。(P. 40)

(ク) 貝毒

二枚貝が毒化する時期等の情報に基づき、二枚貝33検体の検査を実施しましたが、麻痺性貝毒(規制値4MU/g以下)、下痢性貝毒(規制値0.05MU/g以下)の規制値を超えるものはありませんでした。(P. 41)

(ケ) ふぐ毒及び魚種鑑別

ふぐ加工製品(ふぐ刺し、ふぐちり材料パック入り等)5検体のふぐ毒の検査を実施しましたが、すべて検出限界値(5.25MU/g)未満でした。

また、たんぱくゲル電気泳動法で、4検体の魚種鑑別の検査を実施しましたが、ふぐ加工製品の表示はすべて適正でした。(P. 41)

イ 細菌検査

(ア) 規格基準の定められた食品

生食用鮮魚介類については、腸炎ビブリオ最確数の検査を実施しましたが、違反はありませんでした。

その他、生食用かき、魚肉ねり製品、食肉製品、冷凍食品、冰雪等について、夏期食品等一斉点検期間及び年末食品等一斉点検期間を中心に検査を実施しましたが、違反はありませんでした。

(P. 16、42)

(イ) 規格基準の定められていない食品等

a 衛生規範の定められた食品

そうざい類や洋生菓子など、衛生規範で生菌数などの指導基準が定められている食品について検査を実施し、そうざいで1検体の不適事例を発見しました。(P. 42)

b その他

生食用及び加熱用かきについては、規格基準検査と同時に70検体のノロウイルス検査を実施し、加熱用かき1検体でG2陽性があり、取扱いについて注意を喚起しました。(P. 16)

活魚水槽水(市場せり場内及び仲卸の店頭を設置)の検査は、活魚の多くが生食用に供されるため、これら使用水の食中毒菌汚染状況の把握を主目的として、海水、海水ろ過水とともに検査を実施し、二次汚染防止に努めています。



生食用の貝類（舌切・小柱・アオヤギ等）、魚類（刺身用切り身、まぐろなど）及びウニ等については、規格基準項目に加えて食中毒菌についても検査を実施し、取扱いについて注意を喚起しました。

(3) 違反食品等

食品表示法に関する違反（草大福から表示にない着色料）を検出を1件発見しました。この他、衛生規範不適の食品（弁当から大腸菌及び規定数を超える生菌数を検出）1件を発見しました。これら食品は流通防止等の対応を図りました。（P. 42）

(4) 相談対応

食品等の相談件数は17件ありました。（主な事例：P. 42）

(5) 食品衛生検査所等の業務管理基準（GLP）

平成9年度から導入されたGLPに基づき、検査の精度管理を実施しました。外部精度管理、内部精度管理あわせて、79検体106項目を実施しました。（P. 14）

## 2 平成27年度主要業務一覧

	業務名	主な対象食品	担当		実施期間 (○印は月を表わす)	備考
			細	化		
収去検査関係業務	生食用鮮魚介類の検査	小柱・舌切等	○		④……………③	☆
	魚介類の水銀検査			○	④……………③	
	輸入鮮魚介類の検査	生うに・エビ等	○	○	④……………③	
	酸化防止剤の検査	にぼし・めざし・まるぼし等		○	④……………③	
	魚介類毒性検査	ぶ・ホタテガイ・あじ等		○	④……………③	
	年末魚卵類一斉検査		○	○	⑫	
	抗菌性物質の残留検査	グリ・タイ等	○	○	④……………③	
	魚介類のPCB検査			○	④……………③	
	加工食品の検査 (魚介類、野菜豆類等)	魚肉ねり製品、珍味そう ざい、ネギトロ等	○	○	④……………③	
	放射性物質検査	農水産物・加工品	○	○	④……………③	
	生かきの検査		○		⑩……………③	
	ふぐ加工製品等の検査	ふぐさし・ふぐちり等	○	○	⑫……………③	
	電気泳動法による魚種鑑別	魚介切身、ふぐ等		○	④……………③	
	漬物の検査		○	○	④……………③	
	生食用野菜の検査		○		④……………③	
	輸入柑橘類の防ばい剤検査			○	④……………③	
	残留農薬検査			○	④……………③	
	関連棟刺身のつま、卵焼等検査	つま、卵焼等	○	○	④……………③	
	鶏卵の検査	生卵	○	○	④……………③	
	食肉製品等の検査		○	○	④……………③	
菓子等の検査(生菓子を含む)	米菓、生菓子等	○	○	④……………③		
かん詰、びん詰食品検査		○	○	④……………③		
サラダ類(そうざい)		○	○	④……………③		
検食、フキトリ検査(飲食店等)		○		⑥……………⑨		
活魚水の細菌検査		○		④……………③		
夏期一斉検査	食肉製品、氷雪、清涼 飲料水、冷凍食品、マ グロ(仲卸各店)等	○	○	⑥⑦⑧		
年末一斉検査	おせち、正月用品等	○	○	⑪⑫		
寄生虫の検査		○		④……………③		
監視指導業務	魚介類販売業の一斉監視指導				⑤……………⑧	弁当屋を含む
	魚介類行商の一斉監視指導				⑤……………⑧	
	飲食店の一斉監視指導				⑤……………⑦	
	秀級施設の推進事業				⑧……………⑪	
	表示点検				④……………③	
	学校給食用物資納入業者の監視指導				⑥……………⑩	
	食中毒予防月間				⑧	
	ホタテガイ等二枚貝の監視指導				④……………③	
	関連棟施設の一斉監視指導				⑥……………⑪	
	冷凍冷蔵関係の一斉監視指導				⑧……………②	
低温せり場の一斉監視指導				⑦⑧		
講習会・ 会議等	食品衛生責任者講習会				⑥ ⑧⑨ ③	全業種について 講習会を実施
	消費者衛生教育				④……………③	
	首都圏5都市市場検査所連絡会議 全国市場衛生検査所協議会関係				⑤ ② ⑤ ⑪	

☆ 一部の検査は衛生研究所において実施

### 3 平成27年度監視業務実績

業種	本場		南部	
	対象施設数	監視件数	対象施設数	監視件数
飲食店 一般食堂	11	8	7	
飲食店 レストラン			2	
飲食店 すし屋	2		1	
飲食店 そば屋	1			
飲食店 中華料理店			1	
飲食店 給食食堂	4	4	3	
飲食店 軽飲食	5	2	2	
飲食店 弁当屋				
飲食店 そうざい			2	
飲食店 自動販売機による営業			5	2
菓子製造業	1		1	
魚介類販売業	99	169	37	8
魚介類販売業 冷凍包装	11	3	2	
魚介類販売業 冷蔵包装	1		1	
魚介類販売業 冷凍又は冷蔵包装	4	1	3	
魚介類せり売営業	2			
魚肉ねり製品製造業	1	1		
食品の冷凍又は冷蔵業	13	4	10	
喫茶店	1			
喫茶店 カップ式自動販売機	18		10	3
乳類販売業 専業販売	1			
乳類販売業 店頭販売	4		5	
乳類販売業 自動販売機による営業	4		2	1
食肉処理業	1		1	
食肉販売業	2		2	
食肉販売業 冷凍包装	9	7	2	
食肉販売業 冷蔵包装	1		2	
食肉販売業 冷凍又は冷蔵包装	3	2	3	
醤油製造業			1	
そうざい製造業	6	4		
冰雪製造業	1			
冰雪販売業	1		1	
魚介類行商	7	10	10	
魚介類加工業	8	5	4	
発酵乳等販売業	2		1	
許可営業施設	224	220	121	14
工場・事業所給食	1	1		
食品製造業	4		4	
野菜・果物販売業	42	3	29	
そうざい販売業	1		9	
菓子販売業	1		11	
弁当類販売業	1		1	
酒類販売業			2	
食品販売業	38	2	30	
器具・容器包装・おもちゃ製造販売業	4		5	
報告営業施設	92	6	91	0
監視件数(A)		226		14
食品表示等監視件数(B)		7,981		6,149
総監視件数(A+B)		8,207		6,163

#### 4 平成27年度食品別検査状況

食品分類	収去 検体数	検査 検体数	検査項目数					衛研 搬入数	違反件数(項目数)					行政処分件数					行政指導 措置等件数	衛生規範 不適数
			総数	理化学検査	細菌検査	表示検査	その他		検査			監視	総数	廃棄 処分	返品 処分	営業の 禁停止	その他			
									総数	理化学	細菌									
魚介類	395	448	1,918	1607	270	41	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
冷凍食品	無加熱摂取冷凍食品	3	5	44	30	11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	凍結直前に加熱された 加熱後摂取冷凍食品	16	32	64	0	48	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	凍結直前未加熱の 加熱後摂取冷凍食品	22	44	88	0	66	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生食用冷凍鮮魚介類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
魚介類加工品 (かん詰、びん詰を除く)	616	849	2,683	1379	1158	146	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肉、卵類及びその加工品 (かん詰、びん詰を除く)	26	54	951	833	100	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳製品及び 乳類加工品	6	6	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
穀類及びその加工品 (かん詰、びん詰を除く)	17	24	52	12	33	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野菜類、果実類及びその加工品 (かん詰、びん詰を除く)	293	318	23,403	23112	267	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菓子類	73	136	684	419	216	49	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
清涼飲料水	28	53	514	417	84	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
氷雪	10	10	30	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水	176	176	704	0	704	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かん詰、びん詰食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の食品	150	211	835	297	495	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
器具及び容器包装	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	1,831	2,366	31,982	28,118	3,482	382	0	10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0
調理器具等ファクトリ検査		0	0	0	0	0	0	0												
福祉保健センター等依頼検査		587	9,195	8,403	792	0	0	0												
精度管理検査		79	106	73	33	0	0	0												
総計	1,831	3,032	41,257	36,568	4,307	382	0	10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0

## 5 平成27年度食品分類別・項目別検査状況

### (1) 理化学検査実施数

食品分類	食品添加物								放射 物質 農薬	残留 抗生 素	抗 菌 性 質 成 剤	重 金 属 P C B	有 機 ス ズ 化 合 物 (TBTO, TPT)	貝 毒 ア ミ ン	揮 発 性 ア ミ ン	そ の 他
	合 甘 味 料	成 色 料	着 色 料	合 保 存 料	成 防 止 剤	酸 化 剤	発 色 剤	漂 白 剤								
魚介類				18			6		494		841	55		65		
冷凍食品	無加熱摂取冷凍食品		22	6				2								
	凍結直前に加熱された 加熱後摂取冷凍食品															
	凍結直前未加熱の 加熱後摂取冷凍食品															
	生食用冷凍鮮魚介類															
魚介類加工品 (かん詰、びん詰を除く)			746	297	61	22	43		2					5	194	4
肉、卵類及びその加工品 (かん詰、びん詰を除く)			99	27				9			553					
乳製品及び 乳類加工品									12							
穀類及びその加工品 (かん詰、びん詰を除く)									12							
野菜類、果実類及びその加工品 (かん詰、びん詰を除く)	22		198	49	3		1	12	164	22,663						
菓子類			303	114					2							
清涼飲料水	31		278	108												
水																
かん詰、びん詰食品																
その他の食品			219	66			10								2	
小計	53	1,865	685	64	33	60	12	686	22,663	1,394	55			70	196	4
福祉保健センター等 依頼食品検査	89	1,401	105	434	7	20		142	6,176							29
精度管理検査	16	12	16	8	8					5					8	
総計	158	3,278	806	506	48	80	12	828	28,839	1,399	55			70	204	33

(2) 細菌検査実施数

( )内は陽性数

食品分類	細菌数	大腸菌群	E.coli※	E.coli 最確数	黄色 ブドウ球菌	サルモネラ	セレウス	腸炎 ビブリオ	腸炎ビブリオ 最確数	NAG ビブリオ	ビブリオ フルビウス	ビブリオ ミキス	エロモナス	プレシオ モナス	ウェルシュ	クロストリジ ウム属菌	ノロ ウイルス	クドア
魚介類	55		25 (1)	31 (6)	54 (1)			9	46 (4)								34	17
冷凍食品	無加熱摂取冷凍食品	3	3		3			2										
	凍結直前に加熱された 加熱後摂取冷凍食品	16	16		16													
	凍結直前未加熱の 加熱後摂取冷凍食品	22		22	22													
	生食用冷凍鮮魚介類																	
魚介類加工品 (かん詰、びん詰を除く)	362	261 (63)	102 (2)		351			82										
肉、卵類及びその加工品 (かん詰、びん詰を除く)	25	2	23		25	25												
乳製品及び 乳類加工品																		
穀類及びその加工品 (かん詰、びん詰を除く)	11	6	5		11													
野菜類、果実類及び その加工品 (かん詰、びん詰を除く)	71		77 (4)		71	40		8										
菓子類	72	62 (1)	10		72													
清涼飲料水	28	28			28													
氷雪	10	10			10													
水	192		192 (19)		192			192 (12)										
その他の食品	148 (1)		148 (8)		148 (1)			51										
小計	1,015 (1)	388 (64)	604 (34)	31 (6)	1,003 (2)	65 (0)	0 (0)	344 (12)	46 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	34 (0)	17 (0)
福祉保健センター等依頼検査	273 (3)	60 (4)	183 (2)	17 (9)	221 (1)	2											36 (1)	
精度管理検査	31	2																
総計	1,319 (4)	450 (68)	787 (36)	48 (15)	1,224 (3)	67 (0)	0 (0)	344 (12)	46 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	70 (1)	17 (0)

※大腸菌を含む



## (3) 食品中の放射性物質

## ア 水産物(市場収去分)

単位:Bq/kg

	収去品名	産地		収去月	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
		都道府県	漁獲水域				
1	アイナメ	岩手県	岩手県沖	H27.5.20	<0.765	<0.911	検出限界未満
2	アイナメ	青森県	青森県沖	H27.11.10	<0.754	<0.813	検出限界未満
3	アイナメ	—	北海道・青森県沖 太平洋	H28.2.10	<0.777	<0.752	検出限界未満
4	アカカマス	神奈川県	神奈川県沖	H27.6.19	<0.836	<0.813	検出限界未満
5	アカカマス	神奈川県	神奈川県沖	H27.11.6	<0.740	<0.821	検出限界未満
6	アカカマス	神奈川県	神奈川県沖	H28.1.15	<0.762	<0.764	検出限界未満
7	アカガレイ	宮城県	宮城県沖	H27.5.20	<0.686	<0.778	検出限界未満
8	アカガレイ	宮城県	宮城県沖	H27.6.2	<0.743	<0.882	検出限界未満
9	アカガレイ	宮城県	宮城県沖	H27.8.5	<0.716	0.790	0.79
10	アカガレイ	宮城県	宮城県沖	H27.12.15	<0.637	<0.835	検出限界未満
11	アカガレイ	青森県	青森県沖	H28.3.11	<0.813	<0.679	検出限界未満
12	アコウダイ	—	千葉県沖	H27.5.12	<0.718	<0.834	検出限界未満
13	アンコウ	岩手県	岩手県沖	H27.12.4	<0.720	1.180	1.2
14	アンコウ	岩手県	岩手県沖	H28.1.22	<0.645	<0.713	検出限界未満
15	イシダイ	神奈川県	神奈川県沖	H27.4.7	<0.925	<0.812	検出限界未満
16	ウスメバル	青森県	青森県沖	H27.10.21	<0.718	<0.904	検出限界未満
17	ウバガイ (ホッキガイ)	青森県	青森県沖	H27.12.22	<0.700	<0.735	検出限界未満
18	ウバガイ (ホッキガイ)	青森県	青森県沖	H27.12.25	<0.811	<0.808	検出限界未満
19	ウルメイワシ	神奈川県	神奈川県沖	H27.5.29	<0.901	<0.847	検出限界未満
20	エゾイソアイナメ(ドンコ)	岩手県	岩手県沖	H27.7.22	<0.654	<0.790	検出限界未満
21	カツオ	千葉県	千葉県沖	H27.4.3	<0.751	<0.858	検出限界未満
22	カツオ	千葉県	千葉県沖	H27.4.30	<0.716	<0.750	検出限界未満
23	カツオ	宮城県	宮城県沖	H27.5.12	<0.674	<0.826	検出限界未満
24	カツオ	千葉県	千葉県沖	H27.5.20	<0.630	<0.753	検出限界未満
25	カツオ	千葉県	千葉県沖	H27.6.2	<0.631	<0.788	検出限界未満
26	カツオ	神奈川県	神奈川県沖	H27.6.9	<0.644	<0.764	検出限界未満
27	カツオ	宮城県	宮城県沖	H27.6.12	<0.895	<0.767	検出限界未満
28	カツオ	宮城県	宮城県沖	H27.6.30	<0.685	<0.768	検出限界未満
29	カツオ	宮城県	宮城県沖	H27.7.10	<0.711	<0.681	検出限界未満
30	カツオ	宮城県	宮城県沖	H27.7.17	<0.858	<0.704	検出限界未満
31	カツオ	宮城県	宮城県沖	H27.7.22	<0.693	<0.854	検出限界未満

	収去品名	産地		収去月	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
		都道府県	漁獲水域				
32	カツオ	宮城県	宮城県沖	H27.8.13	<0.679	<0.842	検出限界未満
33	カツオ	宮城県	宮城県沖	H27.8.25	<0.685	<0.712	検出限界未満
34	カツオ	宮城県	宮城県沖	H27.8.28	<0.682	<0.946	検出限界未満
35	カツオ	宮城県	宮城県沖	H27.9.25	<0.711	<0.752	検出限界未満
36	カツオ	神奈川県	神奈川県沖	H27.9.29	<0.710	<0.680	検出限界未満
37	カツオ	宮城県	宮城県沖	H27.10.14	<0.824	<0.863	検出限界未満
38	カツオ	宮城県	宮城県沖	H27.10.21	<0.818	<0.802	検出限界未満
39	カツオ	千葉県	千葉県沖	H28.2.26	<0.956	<0.813	検出限界未満
40	カツオ	千葉県	千葉県沖	H28.3.11	<0.639	<0.629	検出限界未満
41	カツオ	千葉県	千葉県沖	H28.3.15	<0.763	<0.757	検出限界未満
42	カツオ	千葉県	千葉県沖	H28.3.30	<0.676	<0.931	検出限界未満
43	かつおたたき	—	太平洋	H27.9.11	<0.809	<0.839	検出限界未満
44	カマス	神奈川県	神奈川県沖	H27.5.8	<0.837	<0.743	検出限界未満
45	カワハギ	神奈川県	神奈川県沖	H27.5.8	<0.821	<0.764	検出限界未満
46	カワハギ	神奈川県	神奈川県沖	H27.11.17	<0.930	<0.929	検出限界未満
47	カンパチ	宮城県	宮城県沖	H27.8.28	<0.744	<0.981	検出限界未満
48	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	H27.4.3	<0.824	<0.840	検出限界未満
49	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	H27.6.30	<0.812	<0.865	検出限界未満
50	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	H27.10.14	<0.760	<0.807	検出限界未満
51	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	H27.10.21	<0.577	<0.933	検出限界未満
52	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	H27.11.4	<0.733	<0.976	検出限界未満
53	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	H27.12.15	<0.778	<0.791	検出限界未満
54	キンメダイ	神奈川県	神奈川県沖	H27.12.22	<0.622	<0.754	検出限界未満
55	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	H27.12.25	<0.621	<0.810	検出限界未満
56	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	H28.1.8	<0.853	<0.618	検出限界未満
57	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	H28.1.22	<0.692	<0.878	検出限界未満
58	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	H28.2.2	<0.803	<0.676	検出限界未満
59	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	H28.2.23	<0.728	<0.917	検出限界未満
60	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	H28.2.26	<0.623	<0.807	検出限界未満
61	キンメダイ	千葉県	千葉県沖	H28.3.11	<0.672	<0.798	検出限界未満
62	クロソイ	青森県	青森県沖	H28.2.16	<0.773	<0.915	検出限界未満
63	クロダイ	神奈川県	神奈川県沖	H27.5.15	<0.713	<0.789	検出限界未満

	収去品名	産地		収去月	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
		都道府県	漁獲水域				
64	クロマグロ(メジマグロ)	神奈川県	神奈川県沖	H27.9.29	<0.943	<0.768	検出限界未満
65	コノシロ(コハダ)	千葉県	千葉県沖	H27.4.7	<0.814	<0.805	検出限界未満
66	コノシロ(コハダ)	千葉県	千葉県沖	H27.9.15	<0.854	<0.880	検出限界未満
67	コノシロ(コハダ)	千葉県	千葉県沖	H28.3.30	<0.822	<0.875	検出限界未満
68	ゴマサバ	千葉県	千葉県沖	H27.6.9	<0.706	<0.768	検出限界未満
69	ゴマサバ	青森県	青森県沖	H27.9.4	<0.650	<0.888	検出限界未満
70	ゴマサバ	神奈川県	神奈川県沖	H27.9.4	<0.732	<0.812	検出限界未満
71	サクラマス	岩手県	岩手県沖	H27.6.30	<0.752	<0.809	検出限界未満
72	サクラマス	青森県	青森県沖	H28.3.25	<0.822	<0.855	検出限界未満
73	サケ	岩手県	岩手県沖	H27.9.11	<0.705	<0.856	検出限界未満
74	サケ(フィレ)	青森県	青森県沖	H27.10.21	<0.631	<0.713	検出限界未満
75	サワラ	神奈川県	神奈川県沖	H27.7.3	<0.729	<0.951	検出限界未満
76	サワラ	岩手県	岩手県沖	H27.8.5	<0.594	1.15	1.2
77	サワラ	宮城県	宮城県沖	H27.8.28	<0.713	<0.796	検出限界未満
78	サワラ	岩手県	三陸北部沖	H27.9.4	<0.918	<0.952	検出限界未満
79	サワラ	岩手県	岩手県沖	H27.9.15	<0.733	<0.863	検出限界未満
80	サワラ	岩手県	岩手県沖	H27.9.25	<0.703	<0.939	検出限界未満
81	サワラ	岩手県	岩手県沖	H27.9.29	<0.810	<0.862	検出限界未満
82	サワラ	宮城県	三陸北部沖	H27.10.16	<0.777	<0.898	検出限界未満
83	サワラ	岩手県	岩手県沖	H27.11.4	<0.699	1.07	1.1
84	サワラ	岩手県	岩手県沖	H27.11.10	<0.840	<0.796	検出限界未満
85	サワラ	岩手県	三陸北部沖	H27.11.17	<0.836	<0.814	検出限界未満
86	サワラ	岩手県	岩手県沖	H27.12.4	<0.690	<0.866	検出限界未満
87	サワラ	岩手県	岩手県沖	H27.12.25	<0.776	<0.900	検出限界未満
88	サワラ	千葉県	千葉県沖	H28.1.6	<0.662	<0.829	検出限界未満
89	サワラ	千葉県	千葉県沖	H28.1.15	<0.747	<0.855	検出限界未満
90	サワラ(サゴシ)	宮城県	三陸南部沖	H27.8.7	<0.815	<0.854	検出限界未満
91	サワラ(サゴシ)	岩手県	岩手県沖	H27.8.18	<0.654	<0.881	検出限界未満
92	サワラ(サゴシ)	岩手県	岩手県沖	H27.10.14	<0.817	<0.972	検出限界未満
93	サンコウメヌケ	北海道	北海道沖	H27.9.11	<0.800	<0.779	検出限界未満
94	サンコウメヌケ	北海道	北海道沖	H27.10.2	<0.834	<0.691	検出限界未満
95	サンマ	—	北海道青森県沖	H27.9.4	<0.698	<0.731	検出限界未満

	収去品名	産地		収去月	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
		都道府県	漁獲水域				
96	サンマ	宮城県	三陸北部沖	H27.10.6	<0.756	<0.690	検出限界未満
97	サンマ	宮城県	宮城県沖	H27.11.6	<0.725	<0.760	検出限界未満
98	ジンドウイカ(ヒイカ)	宮城県	宮城県沖	H27.4.14	<0.777	<0.906	検出限界未満
99	ジンドウイカ(ヒイカ)	宮城県	宮城県沖	H27.6.2	<0.778	<0.745	検出限界未満
100	ジンドウイカ(ヒイカ)	宮城県	三陸南部沖	H27.8.13	<0.644	<0.866	検出限界未満
101	スズキ	神奈川県	松輪港	H27.4.24	<0.875	<0.844	検出限界未満
102	スズキ	神奈川県	神奈川県沖	H27.6.19	<0.801	<0.756	検出限界未満
103	スズキ	神奈川県	神奈川県沖	H27.7.31	<0.777	<0.715	検出限界未満
104	スズキ	千葉県	千葉県沖	H28.1.29	<0.784	<0.755	検出限界未満
105	スズキ	神奈川県	神奈川県沖	H28.1.29	<0.807	<0.728	検出限界未満
106	スズキ	宮城県	宮城県沖	H28.3.15	<0.728	1.530	1.5
107	スルメイカ	青森県	北海道・青森県沖 太平洋	H27.7.17	<0.828	<0.993	検出限界未満
108	タチウオ	神奈川県	神奈川県沖	H27.4.7	<0.816	<0.817	検出限界未満
109	タチウオ	神奈川県	神奈川県沖	H27.10.16	<0.688	<0.788	検出限界未満
110	トビウオ	神奈川県	神奈川県沖	H27.5.29	<0.719	<0.739	検出限界未満
111	トビウオ	神奈川県	神奈川県沖	H27.6.9	<0.800	<0.831	検出限界未満
112	トビウオ	宮城県	宮城県沖	H27.7.3	<0.817	<1.01	検出限界未満
113	トビウオ	宮城県	宮城県沖	H27.7.31	<0.603	<0.845	検出限界未満
114	トビウオ	東京都	八丈島近海	H28.3.15	<0.916	<0.988	検出限界未満
115	生カキ	宮城県	宮城県沖	H27.12.2	<0.617	<0.727	検出限界未満
116	生カキ	宮城県	宮城県海域	H27.10.30	<0.769	<0.966	検出限界未満
117	生カキ	宮城県	宮城県沖	H28.3.8	<0.672	<0.865	検出限界未満
118	ネズミザメ(モウカザメ) (ファイル)	宮城県	宮城県沖	H27.5.15	<0.730	1.380	1.4
119	ババガレイ(ナメタガレイ)	青森県	青森県沖	H28.2.26	<0.836	<0.825	検出限界未満
120	ババガレイ(ナメタガレイ)	青森県	青森県沖	H27.4.3	<0.686	<0.789	検出限界未満
121	ババガレイ(ナメタガレイ)	茨城県	千葉県沖	H27.7.22	<0.847	<0.836	検出限界未満
122	ババガレイ(ナメタガレイ)	—	千葉県沖	H27.8.5	<0.672	<0.862	検出限界未満
123	ババガレイ(ナメタガレイ)	青森県	青森県沖	H28.2.2	<0.636	<0.785	検出限界未満
124	ババガレイ(ナメタガレイ)	—	北海道・青森県沖 太平洋	H28.2.10	<0.719	<0.836	検出限界未満
125	ババガレイ(ナメタガレイ)	青森県	青森県沖	H28.2.16	<0.740	<0.839	検出限界未満
126	ババガレイ(ナメタガレイ)	青森県	青森県沖	H28.3.25	<0.657	<0.865	検出限界未満
127	ヒラメ	千葉県	銚子港	H27.4.24	<0.826	1.10	1.1

	収去品名	産地		収去月	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
		都道府県	漁獲水域				
128	ヒラメ	千葉県	千葉県沖	H27.5.15	<0.804	<0.723	検出限界未満
129	ヒラメ	宮城県	宮城県沖	H27.6.9	<0.748	<0.901	検出限界未満
130	ヒラメ	青森県	青森県沖	H27.6.12	<0.809	<0.847	検出限界未満
131	ヒラメ	青森県	青森県沖	H27.6.30	<0.774	<0.779	検出限界未満
132	ヒラメ	—	千葉県沖	H27.7.10	<0.653	<1.01	検出限界未満
133	ヒラメ	青森県	青森県沖	H27.12.15	<0.602	<0.831	検出限界未満
134	ヒラメ	青森県	青森県沖	H27.12.25	<0.791	<0.771	検出限界未満
135	ヒラメ	千葉県	千葉県沖	H28.1.15	<0.803	<0.729	検出限界未満
136	ヒラメ(ソゲ)	青森県	青森県沖	H27.10.2	<0.628	<0.932	検出限界未満
137	ヒラメ(ソゲ)	青森県	青森県沖	H27.11.4	<0.745	<0.762	検出限界未満
138	ヒラメ(ソゲ)	青森県	青森県沖	H27.11.27	<0.788	<0.874	検出限界未満
139	ビンナガ(ピンチョウ)マ グロ	宮城県	宮城県沖	H27.7.3	<0.641	<0.798	検出限界未満
140	ブリ	北海道	北海道沖	H27.10.6	<0.786	<0.945	検出限界未満
141	ブリ	宮城県	三陸北部沖	H27.11.6	<0.849	<0.846	検出限界未満
142	ブリ	北海道	北海道沖	H27.11.17	<0.646	<0.879	検出限界未満
143	ブリ(イナダ)	神奈川県	神奈川県沖	H27.5.8	<0.730	<0.905	検出限界未満
144	ブリ(イナダ)	神奈川県	神奈川県沖	H27.6.19	<0.852	<0.870	検出限界未満
145	ブリ(イナダ)	神奈川県	神奈川県沖	H27.7.17	<0.850	<0.876	検出限界未満
146	ブリ(イナダ)	神奈川県	神奈川県沖	H27.7.31	<0.689	<0.755	検出限界未満
147	ブリ(イナダ)	—	宮城県沖	H27.8.7	<0.689	<0.899	検出限界未満
148	ブリ(イナダ)	神奈川県	神奈川県沖	H27.8.7	<0.768	1.080	1.1
149	ブリ(イナダ)	岩手県	岩手県沖	H27.8.13	<0.901	<0.847	検出限界未満
150	ブリ(イナダ)	岩手県	岩手県沖	H27.8.18	<0.717	0.931	0.93
151	ブリ(イナダ)	神奈川県	神奈川県沖	H27.9.15	<0.856	<0.867	検出限界未満
152	ブリ(イナダ)	神奈川県	神奈川県沖	H27.10.6	<0.710	<0.726	検出限界未満
153	ブリ(イナダ)	神奈川県	神奈川県沖	H27.10.30	<0.796	<0.860	検出限界未満
154	ブリ(ワラサ)	神奈川県	神奈川県沖	H27.4.7	<0.644	<0.850	検出限界未満
155	ブリ(ワラサ)	神奈川県	長井港	H27.4.24	<0.760	<0.790	検出限界未満
156	ブリ(ワラサ)	神奈川県	神奈川県沖	H27.5.15	<0.786	<0.720	検出限界未満
157	ブリ(ワラサ)	神奈川県	神奈川県沖	H27.5.29	<0.569	<0.933	検出限界未満
158	ブリ(ワラサ)	神奈川県	神奈川県沖	H27.7.3	<0.840	<0.781	検出限界未満
159	ブリ(ワラサ)	岩手県	三陸北部沖	H27.7.31	<0.908	<0.888	検出限界未満

	収去品名	産地		収去月	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
		都道府県	漁獲水域				
160	ブリ(ワラサ)	神奈川県	神奈川県沖	H27.10.16	<0.854	<0.774	検出限界未満
161	ブリ(ワラサ)	宮城県	三陸北部沖	H27.12.2	<0.765	<0.688	検出限界未満
162	ブリ(ワラサ)	千葉県	千葉県沖	H27.12.22	<0.650	<0.772	検出限界未満
163	ホウボウ	千葉県	銚子港	H27.4.24	<0.730	0.928	0.93
164	ホウボウ	千葉県	千葉県沖	H27.4.30	<0.604	<0.777	検出限界未満
165	ホウボウ	宮城県	宮城県沖	H27.8.28	<0.816	<0.869	検出限界未満
166	ホウボウ	千葉県	千葉県沖	H27.10.30	<0.705	<0.886	検出限界未満
167	ホウボウ	千葉県	千葉県沖	H28.3.30	<0.741	<0.881	検出限界未満
168	ホシガレイ	宮城県	宮城県沖	H28.1.8	<0.746	1.020	1.0
169	ホタテガイ	岩手県	岩手県沖	H27.12.2	<0.676	<0.832	検出限界未満
170	ボタンエビ	千葉県	千葉県沖	H27.9.25	<0.706	<0.788	検出限界未満
171	ホヤ	青森県	青森県沖	H27.4.14	<0.645	<0.855	検出限界未満
172	マアジ	神奈川県	神奈川県沖	H27.5.8	<0.598	<0.753	検出限界未満
173	マアジ	千葉県	千葉県沖	H27.5.29	<0.591	<0.789	検出限界未満
174	マアジ	宮城県	三陸南部沖	H27.8.7	<0.694	<0.868	検出限界未満
175	マアジ	神奈川県	神奈川県沖	H27.8.18	<0.752	<0.865	検出限界未満
176	マアジ	宮城県	宮城県沖	H27.9.15	<0.866	<0.919	検出限界未満
177	マアジ	神奈川県	神奈川県沖	H27.10.16	<0.890	<0.967	検出限界未満
178	マアジ	宮城県	宮城県沖	H27.10.30	<0.758	<0.909	検出限界未満
179	マアジ	神奈川県	神奈川県沖	H27.11.6	<0.730	<0.808	検出限界未満
180	マイワシ	北海道	北海道沖	H27.8.18	<0.796	<0.796	検出限界未満
181	マイワシ	宮城県	三陸南部沖	H27.12.22	<0.578	<0.786	検出限界未満
182	マイワシ	岩手県	三陸北部沖	H28.1.6	<0.731	<0.804	検出限界未満
183	マコガレイ	宮城県	宮城県沖	H27.8.25	<0.763	<0.796	検出限界未満
184	マコガレイ	青森県	青森県沖	H27.4.14	<0.578	<0.894	検出限界未満
185	マコガレイ	青森県	青森県沖	H27.6.2	<0.648	<0.808	検出限界未満
186	マコガレイ	青森県	青森県沖	H27.6.12	<0.699	<0.541	検出限界未満
187	マコガレイ	青森県	青森県沖	H27.7.10	<0.677	<0.899	検出限界未満
188	マコガレイ	青森県	青森県沖	H27.7.22	<0.728	<0.739	検出限界未満
189	マコガレイ	青森県	青森県沖	H27.8.13	<0.789	<0.968	検出限界未満
190	マコガレイ	青森県	青森県沖	H27.8.25	<0.800	<0.891	検出限界未満
191	マコガレイ	青森県	青森県沖	H28.2.2	<0.804	<0.929	検出限界未満

	収去品名	産地		収去月	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
		都道府県	漁獲水域				
192	マコガレイ	青森県	青森県沖	H28.3.25	<0.597	<0.807	検出限界未満
193	マゴチ	—	千葉県沖	H27.7.10	<0.682	1.28	1.3
194	マサバ	神奈川県	神奈川県沖	H27.6.19	<0.815	<0.830	検出限界未満
195	マサバ	宮城県	宮城県沖	H27.9.29	<0.707	<0.761	検出限界未満
196	マサバ	宮城県	宮城県沖	H27.10.6	<0.741	<0.838	検出限界未満
197	マサバ	神奈川県	神奈川県沖	H27.11.17	<0.712	<0.805	検出限界未満
198	マサバ	宮城県	宮城県沖	H28.1.6	<0.940	<0.738	検出限界未満
199	マサバ	千葉県	千葉県沖	H28.3.8	<0.565	<0.669	検出限界未満
200	マサバ	千葉県	千葉県沖	H28.3.15	<0.677	<0.752	検出限界未満
201	マダイ	青森県	青森県沖	H27.8.25	<0.957	<1.03	検出限界未満
202	マダイ	千葉県	千葉県沖	H28.1.29	<0.661	<0.821	検出限界未満
203	マダイ	千葉県	千葉県沖	H28.2.23	<0.758	<0.976	検出限界未満
204	マダラ	青森県	青森県沖	H27.11.27	<0.690	<0.802	検出限界未満
205	ミズダコ	青森県	青森県沖	H27.5.20	<0.738	<0.773	検出限界未満
206	ミズタコ	青森県	青森県沖	H28.1.22	<0.834	<0.734	検出限界未満
207	ミズダコ	青森県	青森県沖	H28.1.8	<0.651	<0.762	検出限界未満
208	ミズダコ	青森県	青森県沖	H28.2.16	<0.708	<0.897	検出限界未満
209	メイタガレイ	—	千葉県沖	H27.5.12	<0.704	<0.947	検出限界未満
210	メカジキ	宮城県	宮城県沖	H27.7.17	<0.769	<0.702	検出限界未満
211	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.4.14	<0.755	<0.853	検出限界未満
212	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.10.2	<0.675	<0.792	検出限界未満
213	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.10.14	<0.925	<0.840	検出限界未満
214	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.11.4	<0.753	<0.756	検出限界未満
215	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.11.10	<0.696	<0.764	検出限界未満
216	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.11.27	<0.834	<1.04	検出限界未満
217	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.12.2	<0.691	<0.772	検出限界未満
218	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.12.4	<0.687	<0.897	検出限界未満
219	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H28.1.8	<0.779	<0.796	検出限界未満
220	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H28.2.2	<0.809	<0.882	検出限界未満
221	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H28.2.10	<0.694	<0.885	検出限界未満
222	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H28.2.16	<0.699	<0.876	検出限界未満
223	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H28.3.8	<0.831	<0.896	検出限界未満



	収去品名	産地		収去月	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
		都道府県	漁獲水域				
224	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H28.3.25	<0.805	<0.861	検出限界未満
225	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H28.1.22	<0.902	<0.814	検出限界未満
226	メカジキ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H28.2.26	<0.651	<0.789	検出限界未満
227	メガネカスベ	青森県	青森県沖	H27.4.3	<0.686	<0.840	検出限界未満
228	メガネカスベ	青森県	青森県沖	H27.5.12	<0.654	<0.819	検出限界未満
229	メバチマグロ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.4.30	<0.795	<0.812	検出限界未満
230	メバチマグロ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.6.12	<0.632	<0.853	検出限界未満
231	メバチマグロ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.8.5	<0.679	<0.772	検出限界未満
232	メバチマグロ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.9.11	<0.831	<0.714	検出限界未満
233	メバチマグロ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.9.25	<0.697	<0.841	検出限界未満
234	メバチマグロ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.10.2	<0.762	<0.727	検出限界未満
235	メバチマグロ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.11.10	<0.790	<0.878	検出限界未満
236	メバチマグロ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.11.27	<0.610	<0.862	検出限界未満
237	メバチマグロ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.12.4	<0.680	<0.782	検出限界未満
238	メバチマグロ(フィレ)	宮城県	宮城県沖	H27.12.15	<0.647	<0.842	検出限界未満
239	ヤリイカ	千葉県	千葉県沖	H27.4.30	<0.841	<0.797	検出限界未満
240	ヤリイカ	岩手県	三陸北部沖	H28.1.6	<0.767	<0.973	検出限界未満
241	ヤリイカ	茨城県	茨城県沖	H28.2.23	<0.822	<0.840	検出限界未満
242	ヤリイカ	青森県	青森県沖	H28.3.11	<0.778	<0.951	検出限界未満
243	ワカメ	神奈川県	神奈川県沖	H28.1.29	<0.958	<1.07	検出限界未満
244	ワカメ(メカブ)	神奈川県	神奈川県沖	H28.1.15	<0.789	<0.956	検出限界未満
245	ワカメ(メカブ)	神奈川県	神奈川県沖	H28.2.10	<1.40	<1.27	検出限界未満
246	ワカメ(メカブ)	神奈川県	神奈川県沖	H28.2.23	<0.943	<0.949	検出限界未満
247	ワカメ(メカブ)	宮城県	宮城県沖	H28.3.8	<1.20	<1.40	検出限界未満
248	ワカメ(メカブ)	宮城県	宮城県沖	H28.3.30	<0.863	<0.972	検出限界未満

## イ 農産物(市場収去分)

単位: Bq/kg

	収去品名	産地	収去月	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
1	イチゴ	栃木県	平成27年5月	<0.942	<0.762	検出限界未満
2	イチゴ	栃木県	平成28年1月	<0.695	<0.705	検出限界未満
3	イチゴ	栃木県	平成28年3月	<0.686	<0.879	検出限界未満
4	カボチャ	茨城県	平成27年7月	<0.852	<0.853	検出限界未満
5	キャベツ	神奈川県	平成27年4月	<0.816	<0.724	検出限界未満
6	キャベツ	茨城県	平成27年5月	<0.928	<0.974	検出限界未満
7	キャベツ	群馬県	平成27年7月	<0.701	<0.976	検出限界未満
8	キャベツ	岩手県	平成27年9月	<0.644	<0.614	検出限界未満
9	キャベツ	神奈川県	平成27年10月	<0.659	<0.877	検出限界未満
10	キャベツ	神奈川県	平成28年3月	<0.728	<0.867	検出限界未満
11	キュウリ	群馬県	平成27年4月	<0.708	<0.884	検出限界未満
12	キュウリ	埼玉県	平成27年4月	<0.819	<0.776	検出限界未満
13	キュウリ	福島県	平成27年5月	<0.686	<0.774	検出限界未満
14	キュウリ	福島県	平成27年6月	<0.569	<0.820	検出限界未満
15	キュウリ	福島県	平成27年7月	<0.812	<0.814	検出限界未満
16	キュウリ	福島県	平成27年8月	<0.737	<0.835	検出限界未満
17	キュウリ	岩手県	平成27年8月	<0.674	<0.787	検出限界未満
18	キュウリ	岩手県	平成27年9月	<0.889	<0.818	検出限界未満
19	キュウリ	群馬県	平成27年10月	<0.713	<0.711	検出限界未満
20	キュウリ	埼玉県	平成27年10月	<0.775	<0.854	検出限界未満
21	キュウリ	埼玉県	平成27年11月	<0.671	<0.871	検出限界未満
22	キュウリ	埼玉県	平成27年12月	<0.550	<0.696	検出限界未満
23	キュウリ	群馬県	平成28年2月	<0.699	<0.815	検出限界未満
24	キュウリ	埼玉県	平成28年3月	<0.801	<0.597	検出限界未満
25	サツマイモ	茨城県	平成28年1月	<0.726	<0.735	検出限界未満
26	ダイコン	神奈川県	平成27年12月	<0.539	<0.604	検出限界未満
27	チンゲンサイ	茨城県	平成27年4月	<0.627	<0.611	検出限界未満
28	トマト	福島県	平成27年6月	<0.664	<0.900	検出限界未満
29	トマト	福島県	平成27年7月	<0.724	<0.886	検出限界未満
30	トマト	福島県	平成27年8月	<0.873	<0.807	検出限界未満
31	トマト	福島県	平成27年9月	<0.818	<0.922	検出限界未満

	収去品名	産地	収去月	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
32	トマト	千葉県	平成27年10月	<0.729	<0.713	検出限界未満
33	ナシ	福島県	平成27年9月	0.691	1.210	1.9
34	ナス	山梨県	平成27年6月	<0.820	<0.867	検出限界未満
35	ナス	福島県	平成27年8月	<0.790	<0.822	検出限界未満
36	ニラ	茨城県	平成27年4月	<0.882	<1.09	検出限界未満
37	ニラ	茨城県	平成27年5月	<0.941	<0.968	検出限界未満
38	ニラ	茨城県	平成27年6月	<0.689	<1.08	検出限界未満
39	ニラ	茨城県	平成27年7月	<0.832	<0.977	検出限界未満
40	ニラ	茨城県	平成27年10月	<0.677	<1.03	検出限界未満
41	ニラ	茨城県	平成27年11月	<0.977	<1.01	検出限界未満
42	ニラ	茨城県	平成27年12月	<0.730	<0.962	検出限界未満
43	ニラ	茨城県	平成28年2月	<0.869	<0.722	検出限界未満
44	ニラ	茨城県	平成28年3月	<0.782	<0.827	検出限界未満
45	ニンジン	千葉県	平成27年11月	<0.666	<0.788	検出限界未満
46	ネギ	山形県	平成27年9月	<0.740	<0.720	検出限界未満
47	ネギ	福島県	平成27年12月	<0.927	<0.697	検出限界未満
48	ネギ	福島県	平成28年1月	<0.764	<0.907	検出限界未満
49	ネギ	福島県	平成28年2月	<0.686	<0.859	検出限界未満
50	ネギ	福島県	平成28年3月	<0.616	<0.813	検出限界未満
51	ハクサイ	茨城県	平成27年11月	<0.686	<0.788	検出限界未満
52	ハクサイ	茨城県	平成27年12月	<0.808	<0.783	検出限界未満
53	ピーマン	茨城県	平成27年4月	<0.926	<1.24	検出限界未満
54	ピーマン	茨城県	平成27年5月	<0.957	<1.05	検出限界未満
55	ピーマン	茨城県	平成27年6月	<0.888	<0.969	検出限界未満
56	ピーマン	福島県	平成27年8月	<0.903	<0.990	検出限界未満
57	ピーマン	福島県	平成27年9月	<0.920	<0.971	検出限界未満
58	ピーマン	福島県	平成27年10月	<0.927	<1.08	検出限界未満
59	フキ	群馬県	平成27年5月	<0.798	<0.957	検出限界未満
60	ブドウ	山形県	平成27年8月	<0.748	<0.767	検出限界未満
61	プラム	山形県	平成27年9月	<0.829	<0.785	検出限界未満
62	ブロッコリー	群馬県	平成27年11月	<0.711	<0.720	検出限界未満
63	ブロッコリー	群馬県	平成27年12月	<0.820	<0.755	検出限界未満

	収去品名	産地	収去月	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
64	ハウレンソウ	群馬県	平成27年7月	<0.843	<0.893	検出限界未満
65	ハウレンソウ	群馬県	平成27年12月	<0.798	<0.985	検出限界未満
66	ハウレンソウ	群馬県	平成28年1月	<0.729	<1.00	検出限界未満
67	ハウレンソウ	群馬県	平成28年2月	<0.729	<1.05	検出限界未満
68	ハウレンソウ	群馬県	平成28年3月	<0.896	<0.935	検出限界未満
69	メロン	茨城県	平成27年5月	<0.686	<0.767	検出限界未満
70	メロン	茨城県	平成27年6月	<0.778	<0.717	検出限界未満
71	メロン	千葉県	平成27年7月	<0.700	<0.750	検出限界未満
72	モモ	福島県	平成27年8月	<0.837	<0.909	検出限界未満
73	ラ・フランス	山形県	平成27年11月	<0.740	<0.808	検出限界未満
74	レタス	茨城県	平成27年4月	<0.615	<0.843	検出限界未満
75	レタス	岩手県	平成27年6月	<0.648	<0.916	検出限界未満
76	レタス	茨城県	平成27年10月	<0.712	<0.960	検出限界未満
77	レタス	茨城県	平成27年11月	<0.712	<0.808	検出限界未満
78	レタス	茨城県	平成28年1月	<0.846	<0.854	検出限界未満
79	レタス	茨城県	平成28年1月	<0.817	<0.866	検出限界未満
80	レタス	茨城県	平成28年2月	<0.711	<0.707	検出限界未満
81	レタス	茨城県	平成28年3月	<0.648	<0.802	検出限界未満
82	レンコン	茨城県	平成28年2月	<0.874	<0.925	検出限界未満

## ウ 量販店等流通販売品（区福祉保健センター等依頼検査分）

単位:Bq/kg

	品目	産地	適用基準	採取月 (購入月)	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
1	ほうじ茶	—	飲料水	平成27年6月	<0.562	<0.742	検出限界未満
2	果汁入り飲料(モモ)	—	乳児用食品	平成27年6月	<0.747	<0.673	検出限界未満
3	五目ごはん	—	乳児用食品	平成27年6月	<2.09	<2.06	検出限界未満
4	米(精米)	秋田県	一般食品	平成27年6月	<0.885	<0.761	検出限界未満
5	米(精米)	青森県	一般食品	平成27年6月	<0.678	<0.674	検出限界未満
6	牛乳	—	牛乳	平成27年6月	<0.788	<0.795	検出限界未満
7	牛乳	—	牛乳	平成27年6月	<0.805	<0.743	検出限界未満
8	米(精米)	山形県	一般食品	平成27年7月	<0.814	<0.839	検出限界未満
9	ミネラルウォーター	群馬県	飲料水	平成27年7月	<0.748	<0.622	検出限界未満
10	調製粉乳	—	乳児用食品	平成27年7月	<1.24	<1.49	検出限界未満
11	グラタン	—	乳児用食品	平成27年7月	<2.48	<2.50	検出限界未満
12	清涼飲料水	—	乳児用食品	平成27年7月	<0.632	<0.638	検出限界未満
13	牛乳	北海道	牛乳	平成27年7月	<0.697	<0.760	検出限界未満
14	加工乳	北海道	牛乳	平成27年7月	<0.785	<0.701	検出限界未満
15	米(精米)	茨城県	一般食品	平成27年7月	<0.604	<0.716	検出限界未満
16	調製粉乳	—	乳児用食品	平成27年8月	<1.09	<1.44	検出限界未満
17	牛乳	北海道	牛乳	平成27年8月	<0.726	<0.832	検出限界未満
18	牛乳	岩手県	牛乳	平成27年8月	<0.796	<0.786	検出限界未満
19	清酒	—	一般食品	平成27年8月	<0.754	<0.832	検出限界未満
20	牛乳	—	牛乳	平成27年8月	<0.575	<0.721	検出限界未満
21	低脂肪乳	—	牛乳	平成27年8月	<0.705	<0.737	検出限界未満
22	豆腐	—	一般食品	平成27年8月	<0.738	<0.685	検出限界未満
23	五目中華どん	—	乳児用食品	平成27年8月	<2.06	<2.01	検出限界未満
24	調製粉乳	—	乳児用食品	平成27年9月	<1.81	<1.45	検出限界未満
25	牛乳	—	牛乳	平成27年9月	<0.562	<0.967	検出限界未満
26	牛乳	—	牛乳	平成27年9月	<0.767	<0.804	検出限界未満
27	清酒	—	一般食品	平成27年9月	<0.604	<0.712	検出限界未満
28	調製粉乳	—	乳児用食品	平成27年9月	<1.28	<1.52	検出限界未満
29	調製粉乳	—	乳児用食品	平成27年9月	<1.31	<1.38	検出限界未満
30	牛乳	北海道	牛乳	平成27年9月	<0.692	<0.575	検出限界未満

	品目	産地	適用基準	採取月 (購入月)	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
31	牛乳	—	牛乳	平成27年9月	<0.627	<0.916	検出限界未満
32	牛乳	—	牛乳	平成27年10月	<0.767	<0.768	検出限界未満
33	牛乳	—	牛乳	平成27年10月	<0.891	<0.746	検出限界未満
34	牛乳	—	牛乳	平成27年10月	<0.782	<0.781	検出限界未満
35	清酒	—	一般食品	平成27年10月	<0.642	<0.792	検出限界未満
36	清酒	—	一般食品	平成27年10月	<0.764	<0.739	検出限界未満
37	調製粉乳	—	乳児用食品	平成27年10月	<1.31	<1.38	検出限界未満
38	おじや	—	乳児用食品	平成27年10月	<2.37	<2.68	検出限界未満
39	調製粉乳	—	乳児用食品	平成27年10月	<0.665	<0.909	検出限界未満
40	りんごのペースト状 デザート	—	乳児用食品	平成27年11月	<1.96	<2.02	検出限界未満
41	牛乳	—	牛乳	平成27年11月	<0.760	<0.893	検出限界未満
42	牛乳	—	牛乳	平成27年11月	<0.735	<0.719	検出限界未満
43	牛乳	—	牛乳	平成27年11月	<0.727	<0.857	検出限界未満
44	調製粉乳	—	乳児用食品	平成27年11月	<1.42	<1.74	検出限界未満
45	調製粉乳	—	乳児用食品	平成27年11月	<1.53	<1.52	検出限界未満
46	清酒	—	一般食品	平成27年11月	<0.787	<0.644	検出限界未満
47	調製粉乳	—	一般食品	平成28年1月	<3.82	<3.30	検出限界未満
48	牛乳	北海道	牛乳	平成28年1月	<0.717	<0.692	検出限界未満
49	調製粉乳	—	乳児用食品	平成28年1月	<1.35	<1.47	検出限界未満
50	米(玄米)	秋田県	一般食品	平成28年1月	<0.825	<0.855	検出限界未満
51	調製粉乳	—	乳児用食品	平成28年1月	<1.22	<1.77	検出限界未満
52	牛乳	—	牛乳	平成28年1月	<0.810	<0.684	検出限界未満
53	牛乳	—	牛乳	平成28年1月	<0.604	<0.852	検出限界未満
54	鶏肉	福島県	一般食品	平成28年1月	<0.743	<0.870	検出限界未満
55	鶏肉	宮城県	一般食品	平成28年1月	<0.674	<0.788	検出限界未満
56	鯉	福島県	一般食品	平成28年1月	<0.745	2.380	2.4
57	干し柿	福島県	飲料水	平成28年1月	0.780	2.850	3.6
58	やまと芋	群馬県	一般食品	平成28年1月	<1.22	<1.31	検出限界未満
59	ミネラルウォーター	福島県	一般食品	平成28年1月	<0.583	<0.731	検出限界未満
60	リンゴ	福島県	一般食品	平成28年1月	<0.845	<0.928	検出限界未満
61	トマトジュース	福島県	一般食品	平成28年1月	<2.82	<2.69	検出限界未満

	品目	産地	適用基準	採取月 (購入月)	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
62	トマトジュース	福島県	一般食品	平成28年1月	<2.31	<3.13	検出限界未満
63	果実ジュース	福島県	一般食品	平成28年1月	<0.815	2.46	2.5
64	そば粉	福島県	一般食品	平成28年1月	<0.815	<1.02	検出限界未満
65	調製粉乳	—	乳児用食品	平成28年2月	<1.20	<1.45	検出限界未満
66	調製粉乳	—	乳児用食品	平成28年2月	<1.74	<1.28	検出限界未満
67	牛乳	北海道	牛乳	平成28年2月	<0.595	<0.612	検出限界未満
68	米(精米)	茨城県	一般食品	平成28年2月	<0.574	<0.785	検出限界未満
69	果汁入り飲料 (もも・りんご)	—	乳児用食品	平成28年2月	<0.729	<0.832	検出限界未満
70	清酒	福島県	一般食品	平成28年2月	<0.832	<0.659	検出限界未満
71	米(精米)	福島県	一般食品	平成28年2月	<0.620	<0.929	検出限界未満



## エ 学校給食

単位:Bq/kg

	品目	産地	適用基準	採取月 (購入月)	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合計
1	牛乳	—	牛乳	平成27年6月	<0.694	<0.708	検出限界未満
2	牛乳	—	牛乳	平成27年6月	<0.778	<0.775	検出限界未満
3	米	—	一般食品	平成27年6月	<0.792	<0.714	検出限界未満
4	麦	—	一般食品	平成27年6月	<0.799	<0.763	検出限界未満
5	牛乳	—	牛乳	平成27年6月	<0.727	<0.768	検出限界未満
6	チーズパン	—	一般食品	平成27年6月	<0.839	<0.966	検出限界未満
7	牛乳	—	牛乳	平成27年7月	<0.651	<0.757	検出限界未満
8	胚芽米	—	一般食品	平成27年7月	<0.669	<0.972	検出限界未満
9	牛乳	—	牛乳	平成27年12月	<0.747	<0.785	検出限界未満
10	米	—	牛乳	平成27年12月	<0.727	<0.873	検出限界未満
11	牛乳	—	一般食品	平成27年12月	<0.638	<0.759	検出限界未満
12	麦	—	一般食品	平成27年12月	<0.824	<0.751	検出限界未満
13	米	—	一般食品	平成27年12月	<0.763	<0.781	検出限界未満

## (4) 残留農薬

## ア 国産品(市場収去分)

	農産物名	生産地	検体数	検出検体内容	
				検出 検体数	検出値ppm(残留基準値)
1	イチゴ	栃木県	2	1	ルフェヌロン0.04(1以下) ミクロブタニル0.17(1以下) ボスカリド0.1(15以下)
2	イチジク	静岡県	1	0	
3	インゲン	茨城県	1	0	
4	オオバ	茨城県	2	2	ミクロブタニル0.04(1以下)
					ミクロブタニル0.07(1以下) アゾキシストロビン0.02(70以下)
5	オクラ	群馬県	1	0	
6	キャベツ	群馬県	2	1	プロシミドン0.01(2以下)
		神奈川県	7	0	
7	キュウリ	山形県	1	0	
		群馬県	2	1	プロシミドン0.04(5以下)
		神奈川県	7	4	クロチアニジン 0.03(2以下)
					プロシミドン 0.05(5以下)
					クロルフェナピル 0.04(0.5以下) アゾキシストロビン 0.01(1以下)
宮崎県	1	1	クロルフェナピル0.12(0.5以下) プロシミドン0.15(5以下) メタラキシル及びメフェノキサム0.19(1以下)		
8	コマツナ	茨城県	2	2	フルフェノクスロン 0.02(10以下) クロチアニジン 0.04(1以下) アゾキシストロビン 0.04(15以下) スピノサド 0.22(10以下)
9	サツマイモ	茨城県	1	0	
		千葉県	4	0	
10	シントウ	山形県	1	0	
11	ジャガイモ	神奈川県	1	0	
12	セロリ	静岡県	2	2	クレソキシムメチル0.92(15以下) クロルフェナピル0.14(3以下) アゾキシストロビン0.38(30以下) チアメトキサム0.03(1以下)
					クレソキシムメチル0.03(15以下) クロルフェナピル0.02(3以下)
13	ダイコン	青森県	2	0	
		千葉県	1	0	
		神奈川県	4	0	
14	タマネギ	長野県	1	0	
15	チンゲンサイ	茨城県	1	0	
16	トマト	青森県	1	0	
		山形県	2	1	ビフェントリン0.04(0.5以下) ボスカリド0.46(5以下) クロチアニジン0.01(3以下)
		福島県	1	0	

	農産物名	生産地	検体数	検出検体内容	
				検出 検体数	検出値ppm(残留基準値)
16	トマト	千葉県	3	0	
		神奈川県	2	0	
		佐賀県	1	1	プロシミドン 0.13(5以下)
		熊本県	1	0	
17	ナガイモ	茨城県	1	0	
18	ナシ	福島県	1	0	
		茨城県	1	1	フェンプロパトリン 0.05(5以下) クレソキシムメチル 0.04(5以下) シラフルオフェン 0.01(1以下)
		栃木県	1	0	
19	ナス	千葉県	3	1	4-クロルフェノキシ酢酸 0.01(0.1以下)
		神奈川	3	1	チアメキサム 0.03(0.7以下)
20	ナツミカン(果肉)	熊本県	1	0	
21	ナツミカン(外果皮)	熊本県	1	1	メチダチオン 0.87(-) クロチアニジン 0.02(-)
22	ナツミカンの(果実全体)	熊本県	1	1	メチダチオン 0.41(5以下) クロチアニジン 0.01(2以下)
23	ニンジン	北海道	1	0	
		千葉県	3	0	
24	ハクサイ	長野県	1	0	
		茨城県	4	1	ボスカリド0.04(40以下)
25	パセリ	千葉県	1	0	
26	ブドウ	山梨県	4	4	クレソキシムメチル 0.02(1以下) シプロジニル 0.02(2以下)
					イミダクロプリド 0.03(3以下)
					イミダクロプリド 0.01(3以下)
					クロルフェナピル 0.02(5以下) テブコナゾール 0.09(10以下) イミダクロプリド 0.08(3以下)
27	ブロッコリー	群馬県	1	0	
28	ハウレンソウ	茨城県	1	0	
		群馬県	1	0	
29	ミカン	静岡県	3	0	
		和歌山県	2	1	イミダクロプリド0.01(0.3以下)
		愛媛県	1	0	
		宮崎県	1	0	
30	ミズナ	茨城県	1	0	
31	メロン	千葉県	1	1	イミダクロプリド 0.01(0.4以下) チアクロプリド 0.01(1以下)
		熊本県	1	0	
32	モモ	福島県	2	2	ダイアジノン 0.01(0.1以下) チアクロプリド 0.03(1以下)
					プロシミドン 0.02(3以下)

	農産物名	生産地	検体数	検出検体内容	
				検出 検体数	検出値ppm(残留基準値)
33	リンゴ	青森県	1	1	トリフロキシストロビン0.02(3以下) ボスカリド0.04(2以下) ピラクロストロビン0.01(1以下)
34	レタス	茨城県	4	1	チアメキサム0.01(3以下)
		群馬県	2	1	クロチアニジン 0.04(20以下)
		長野県	1	0	
		静岡県	1	0	
35	レンコン	茨城県	1	0	
合計			110	33	

イ 国産品(区福祉保健センター等依頼検査分)

	農産物名	生産地	検体数	検出検体内容	
				検出 検体数	検出値ppm(残留基準値)
1	イチゴ	栃木県	1	0	
2	キャベツ	神奈川県	4	0	
3	キュウリ	神奈川県	1	1	トルクロホスメチル0.01(2.0以下) クロルフェナピル0.08(0.5以下) チアメキサム0.04(0.5以下)
4	コマツナ	埼玉県	1	0	
		神奈川県	6	3	メタラキシル及びメフェノキサム0.01(1以下)
					イミダクロプリド0.01(5以下)
				イミダクロプリド0.01(5以下)	
5	サツマイモ	神奈川県	1	0	
6	サトイモ	神奈川県	1	0	
7	ジャガイモ	鹿児島県	1	0	
8	ダイコン	神奈川県	2	0	
9	ダイコン(葉)	神奈川県	1	0	
10	トマト	神奈川県	2	1	アゾキシストロビン 0.02(3以下)
11	ナス	高知県	1	1	プロシミドン 0.03(5以下)
		神奈川県	2	0	
12	ニンジン	徳島県	1	1	プロシミドン 0.03(0.5以下)
		神奈川県	1	1	テフルトリン0.04(0.1以下)
13	ピーマン	神奈川県	1	0	
14	ハウレンソウ	東京都	1	0	
		神奈川県	5	2	テフルトリン0.02(0.5以下) フルフェノクスロン0.08(10以下)
	レタス	神奈川県	2	0	
合計			35	10	

ウ 輸入品(市場収去分)

	農産物名	生産地	検体数	検出検体内容	
				検出 検体数	検出値ppm(残留基準値)
1	オレンジ	アメリカ	1	1	イマザリル(残農として)0.03(5.0以下) チアベンダゾール(残農として)1.58(10以下)
		オーストラリア	1	1	イマザリル(残農として)1.71(5.0以下) チアベンダゾール(残農として)1.04(10以下)
2	グレープフルーツ	アメリカ	3	3	クロルピリホス0.12(1以下) ジフルベンズロン0.01(3.0以下) イマザリル(残農として)0.98(5.0以下) チアベンダゾール(残農として)0.45(10以下)
					クロルピリホス0.04(1以下) ジフルベンズロン0.05(3.0以下) イマザリル(残農として)0.32(5.0以下) ピラクロストロビン0.05(2以下) チアベンダゾール(残農として)0.46(10以下)
					イマザリル(残農として)0.65(5.0以下) チアベンダゾール(残農として)0.93(10以下)
3	シイタケ(生)	中国	1	0	
4	スナップエンドウ	中国	1	0	
5	ブロッコリー	アメリカ	1	0	
6	メロン(ハネデュー)	メキシコ	1	1	イミダクロプリド0.02(0.4以下)
7	レモン	アメリカ	2	2	イマザリル(残農として)0.74(5.0以下) チアベンダゾール(残農として)1.65(10以下)
					フルジオキシニル0.83(10以下) イマザリル(残農として)0.02(5.0以下) チアベンダゾール(残農として)0.8(10以下)
合計			11	8	

エ 輸入品(区福祉保健センター等依頼検査分)  
実施なし。

## 残留農薬検査項目

	農薬名		農薬名		農薬名		農薬名		農薬名
1	2-(1-ナフチル)アセタミド	56	キナルホス	111	ジメトン-S-メチル	166	ピリダフェンチオン	221	プロバニル
2	4_CPA	57	キノキシフェン	112	ジメベピラート	167	ピリフェノックス	222	プロバホス
3	BHC	58	キノクラミン	113	シラフルオフェン	168	ピリフタリド	223	プロバルギット
4	DDT	59	キントゼン	114	スピノサド	169	ピリプチカルブ	224	プロビザミド
5	EPN	60	クミルロン	115	スピロキサミン	170	ピリプロキシフェン	225	プロビドロジャスモン
6	MCPB	61	クレソキシムメチル	116	スルフェントラゾン	171	ピリミカープ	226	プロフェノホス
7	TCMTB	62	クロプリネート	117	ターバシル	172	ピリミノバックメチル	227	プロボキスル
8	XMC	63	クロチアエジジン	118	ダイアジノン	173	ピリミホスメチル	228	プロマシル
9	アイオキシニル	64	クロフェンゾン	119	ダイムロン	174	ピリメタニル	229	プロトリン
10	アクリナトリン	65	クロプロップ	120	チアクロプリド	175	ピロキロン	230	プロモキシニル
11	アザコナゾール	66	クロマゾン	121	チアベンダゾール	176	ピンクロプリン	231	プロモプロピレート
12	アシフルオルフェン	67	クロマフェノジド	122	チアメトキサム	177	フィプロニル	232	プロモホスエチル
13	アジンホスメチル	68	クロムプロップ	123	チオベンカルブ	178	フェナミホス	233	プロモホスメチル
14	アセトクロール	69	クロラズラムメチル	124	チオメトン	179	フェナリモル	234	フロラズラム
15	アゾキシストロビン	70	クロリダゾン	125	チフルザミド	180	フェニトロチオン	235	ヘキサコナゾール
16	アトラジン	71	クロリムロンエチル	126	テクナゼン	181	フェノキサニル	236	ヘキサジノン
17	アニコホス	72	クロルエトキシホス	127	テトラクロルピリンホス	182	フェノキシカルブ	237	ヘキサフルムロン
18	アモリン	73	クロルタールジメチル	128	テトラコナゾール	183	フェノチオカルブ	238	ヘキシチアゾクス
19	アラクロー	74	クロルピリホス	129	テトラジホシ	184	フェノリン	239	ペナラキシル
20	アラマト	75	クロルピリホスメチル	130	テニルクロール	185	フェノブカルブ	240	ペノキサコール
21	イサゾホス	76	クロルフェナビル	131	テブコナゾール	186	フェンアミドン	241	ペノキスラム
22	イソキサチオン	77	クロルプロファム	132	テブチウロン	187	フェンクロルホス	242	ペルタン
23	イソキサチオンオキソン	78	クロクストロン	133	テブフェノジド	188	フェントエート	243	ペンシクロン
24	イソフェンホス	79	クロネブ	134	テブフェンピラド	189	フェンブコナゾール	244	ペンシルフロメチル
25	イソプロカルブ	80	クロペンジレート	135	テフルトリン	190	フェンブプロバトリン	245	ペンソフェナップ
26	イソプロチオラン	81	シアナジン	136	デルタメトリン及びトラロメトリン	191	フェンプロビモルフ	246	ペンダイオカルブ
27	イプロジオン	82	シアノホス	137	テルブトリン	192	フェンヘキサミド	247	ペンディメタリン
28	イプロバリカルブ	83	ジウロン	138	テルブホス	193	フサライド	248	ペンフルラリン
29	イプロベンホス	84	シクラニド	139	トリアレート	194	ブタクロール	249	ペンフレセート
30	イマザリル	85	シクロエート	140	トリクロビル	195	ブタミホス	250	ボスカリド
31	イミダクロプリド	86	ジクロスラム	141	トリシラゾール	196	ブピリメート	251	ホスメット
32	イメコナゾール	87	シクロメルファムロン	142	トリチコナゾール	197	ブプロフェジン	252	ホメサフェン
33	インドキサカルブ	88	ジクロトホス	143	トリデモルフ	198	ブラザスルフロ	253	ホルクロルフェニユロン
34	エスプロカルブ	89	ジクロフェンチオン	144	トリブホス	199	ブラムプロップメチル	254	ホルモチオン
35	エタメツルフロメチル	90	ジクロホップメチル	145	トリフルムロン	200	ブラメビル	255	ホレート
36	エタルフルラリン	91	ジクロメジン	146	トリフルラリン	201	フルアクリピリム	256	マラチオン
37	エチオフェンカルブ	92	ジクロラン	147	トリフロキシストロビン	202	フルキンコナゾール	257	ミクロブタニル
38	エチオン	93	ジクロプロップ	148	トリフロホスメチル	203	フルジオキシニル	258	メカルバム
39	エトキサゾール	94	ジクロペンソフェノン	149	ナブタラム	204	フルシラゾール	259	メソシルフロメチル
40	エトキシスルフロ	95	ジスルホトン	150	ナブアニド	205	フルトラニル	260	メタベンズチアズロン
41	エトフェンブックス	96	シニドンエチル	151	ナブロバミド	206	フルトリアホール	261	メタラキシル及びメフェノキサム
42	エトメセート	97	シハロホップブチル	152	ニトタールイソプロビル	207	フルバリネート	262	メチダチオン
43	エトプロホス	98	ジフェナミド	153	バクプロトラゾール	208	フルフェナセット	263	メトキシクロール
44	エトリムホス	99	シフルフェナミド	154	バラチオン	209	フルフェノクスロン	264	メトキシフェノジド
45	エンドスルファン	100	ジフルフェニカン	155	バラチオンメチル	210	フルフェンビルエチル	265	メトスラム
46	エンドリン	101	ジフルベンズロン	156	ハロキシホップ	211	フルミオキサジン	266	メトブレ
47	オキサジアゾン	102	シプロジニル	157	ハロスルフロメチル	212	フルミクロラックペンチル	267	メトミノストロビン
48	オキサジキシル	103	シメコナゾール	158	ピコリナフェン	213	フルメツラム	268	メトラクロール
49	オキサジクロメホン	104	ジメタトリン	159	ピフェノックス	214	フルリドン	269	メヒンホス
50	オキシフルオルフェン	105	ジメチベン	160	ピフェントリン	215	プレチラクロール	270	メフェンビルジエチル
51	オリザリン	106	ジメチリモール	161	ピベロホス	216	プロシミドン	271	モノクロトホス
52	カズサホス	107	ジメテナミド	162	ピラクロストロビン	217	プロチオホス	272	モノリニユロン
53	カルバリル	108	ジメトエート	163	ピラソスルフロエチル	218	プロバキサホップ	273	リニユロン
54	カルフェントラゾンエチル	109	ジメトモルフ	164	ピラソホス	219	プロバクロール	274	リンデン
55	カルプロバミド	110	シメトリン	165	ピラフルフェンエチル	220	プロバジン	275	ルフェスロン

※農作物によって検査項目は異なります。

(5)防ばい剤

単位:g/kg

品 種	検体数	O P P		D P		T B Z		イマザリル	
		検出数	検出範囲	検出数	検出範囲	検出数	検出範囲	検出数	検出範囲
オ レ ン ジ	2	0		0		0		0	
グレープフルーツ	2	2	0.0005~0.0007	0		0		0	
レ モ ン	2	0		0		0		0	
合 計	6	2		0		0		0	



(6) 抗生物質、合成抗菌剤、内寄生虫用剤

品名	抗生物質		合成抗菌剤等	
	検体数	検出数	検体数	検出数
冷凍エビ	6	0	6	0
鶏卵	17	0	17	0
カンパチ(養殖)	4	0	4	0
シマアジ(養殖)	2	0	2	0
ヒラメ(養殖)	1	0	1	0
ブリ(養殖)	3	0	3	0
マダイ(養殖)	5	0	5	0
合計	38	0	38	0

抗生物質検査項目

オキシテトラサイクリン	クロルテトラサイクリン	テトラサイクリン
-------------	-------------	----------

合成抗菌剤、内寄生虫用剤検査項目

クロピドール	モランテル	スルファメキサゾール
クロルスロン	マルボフロキサシン	スルファメキシピリダジン
ダノフロキサシン	ナリジクス酸	スルファジメキシシン
デキサメタゾン	ナイカルバジン	スルファメキシジアジン
ジアベリジン	オフロキサシン	スルファモノメキシシン
ジクラズリル	オルビフロキサシン	スルファニトラン
ジシクラニル	オルメプリム	スルファピリジン
ジフロキサシン	オキソリニック酸	スルファキノキサリン
エンフロキサシン *1	ピロミド酸	スルファチアゾール
エリスロマイシン	ピランテル	スルファトロキサゾール
エトパベート	ピリメタミン	スルフィソゾール
ファムフル	サラフロキサシン	チアベンダゾール *3
フェノブカルブ	スピラマイシン *2	チアンフェニコール
フロルフエニコール	スルファプロモメタジン	チアムリン
フルベンダゾール	スルファセタミド	トリメプリム
フルメキン	スルファジアジン	タイロシン
レバミゾール	スルファジミジン	キシラジン
リンコマイシン	スルファエトキシピリダジン	
メベンダゾール	スルファメラジン	

\*1 エンフロキサシン及びその代謝物であるシプロフロキサシンの和

\*2 スピラマイシン I 及びネオスピラマイシン I の和

\*3 畜水産物:チアベンダゾール及び5-ヒドロキシチアベンダゾールの和

その他の食品:チアベンダゾールのみ

検査項目は検体により異なります

## (7)水銀

単位:ppm

魚 種	総 水 銀			メチル水銀	
	検体数	検出数	検 出 範 囲	検体数	検出数
ア カ カ マ ス	1	1	0.02	0	
ア カ ハ タ	1	1	0.10	0	
ア カ メ バ ル	1	1	0.04	0	
ア マ ダ イ	1	1	0.06	0	
イ サ キ	2	2	0.09~0.17	0	
イトヨリダイ	1	1	0.21	0	
ウスメバル	1	1	0.05	0	
キタノホッケ	1	1	0.05	0	
ギンザケ	1	1	0.08	0	
サケ	1	1	0.01	0	
サワラ	1	1	0.02	0	
サンマ	1	1	0.04	0	
スケトウダラ	1	0	不検出	0	
スズキ	1	1	0.14	0	
チダイ	1	1	0.09	0	
ババガレイ	1	1	0.02	0	
ブリ	1	1	0.10	0	
マアジ	4	4	0.03~0.25	0	
マサバ	3	3	0.08~0.23	0	
マダイ	1	1	0.050	0	
マダラ	1	1	0.16	0	
メカジキ*	1	1	0.24	0	
メバル	1	1	0.06	0	
ヤマトカマス	1	1	0.02	0	
カンパチ(養殖)	4	4	0.08~0.14	0	
シマアジ(養殖)	2	2	0.2~0.29	0	
ヒラメ(養殖)	1	1	0.12	0	
ブリ(養殖)	3	3	0.11~0.23	0	
マダイ(養殖)	5	5	0.07~0.22	0	
合 計	45	44		0	

\* 暫定的規制値適用外魚種

## (8)PCB

単位:ppm

魚種	検体数	検出数	検出範囲
アカメバル	1	0	
イサキ	1	0	
イトヨリダイ	1	0	
ギンザケ	1	0	
サンマ	1	0	
チダイ	1	0	
マアジ	1	0	
マサバ	1	0	
マダラ	1	0	
ヤマトカマス	1	0	
合計	10	0	

## (9) 貝毒

(単位:MU/g)

品名	形態	麻痺性貝毒			下痢性貝毒		
		検体数	検出数	検出範囲	検体数	検出数	検出範囲
アカガイ	殻付	7	0		7	0	
アサリ	むき身	5	0		5	0	
ハマグリ	殻付	7	0		7	0	
ホタテガイ	殻付	14	0		13	0	
合計		33	0		32	0	

## (10) ふぐ毒及び魚種鑑別

種類 (表示)	ふぐ毒		魚種鑑別	
	検体数	検査結果	検体数	検査結果
シロサバフグ	1	5.25MU/g未満	1	表示どおり
トラフグ	3	5.25MU/g未満	2	表示どおり
マフグ	1	5.25MU/g未満	1	表示どおり

## 6 違反食品等

番号	食品	違反等の内容		措置内容
1	弁当 (加熱処理品)	衛生規範不適合 (衛生規範不適合)	生菌数 210万/g検出 (基準値 10万以下/g) 大腸菌 陽性 (基準値 陰性)	製造所を所管する自治体へ通報
2	草大福 (菓子類)	食品表示法第5条 (表示違反)	食用赤色106号検出 (表示に無い着色料の検出)	製造所を所管する自治体へ通報

## 7 相談対応(主な事例)

番号	概要	調査結果
1	タイの切り身に茶褐色の異物があった。	異物は茶褐色、粘土様で、有機物臭があった。顕微鏡下で観察したところ、約100 $\mu$ mの卵円形の物質が多数観察された。異物は寄生虫の卵と推測された。
2	マダラの切り身に黒いすす状の異物があった。	黒色部分はマダラの筋肉組織内に点在していて、顕微鏡で観察したところ、数ミリ程度の黒いすす状であった。これは、マダラに寄生していた粘液胞子虫類(寄生虫)が死滅した際にマダラの筋肉組織に起こした現象と推察された。
3	すじこの中に黄色、白色の粒状異物があった。	異物は白色～黄色、直径1～2mm程度の球状で、卵巣膜に癒着していた。切開した異物、粘性液を拡大して観察したところ、正常卵の場合と同様の膜状構造と油滴が観察された。異物はすじこ中の未成熟卵であると推定された。
4	黒ムツの切り身にクリーム色に変色した部分があった。	変色部分は黒ムツの背骨に沿った部分の筋肉に5～10mm程度の大きさで数か所に認められた。顕微鏡で観察したところ、楕円形状の物質が多数認められた。寄生虫の胞子が集まった塊と推察された。
5	ポイルホタルイカの体表面に白色異物が付着していた。	付着部分を顕微鏡で観察したところ、異物は半透明な白色で、体表全体に糸くず状のものが広がっており、樹脂様の塊となっている部分が見られた。異物をカビ用培地で培養したところ、繁殖しなかった。異物はカビではなく、ホタルイカに含まれる成分が乾燥等の要因で表面に析出したものと推察された。

## 8 衛生教育実施結果

平成27年度に、場内の食品関係業者及び給食施設従事者、並びに一般の見学者等に、講習会等衛生教育を行いました。

両会場の合計は、総回数16回、延人数517人でした。

		食品衛生責任者指定講習会等	消費者等見学者向け衛生教育
回数	本場	4	9
	南部	3	0
人数	本場	141	318
	南部	58	0

## 9 その他の業務

- (1) 環境保全に関する業務  
ネズミ、ゴキブリ等衛生害虫駆除の指導
- (2) 広報業務  
インターネットによる検査情報等の配信

市場食品衛生検査所関係年表(S58年以降)

昭和58年	2月	●アオブダイの肝で食中毒発生(1名死亡)
	9月	●韓国産輸入生うにが原因と思われる食中毒多発
	12月	●「ふぐの衛生確保について」厚生省通達
昭和59年	6月	●辛子蓮根によるボツリヌス食中毒事件発生
昭和60年	4月	●TBTO問題について厚生省通達
	8月	●ジエチレングリコール混入輸入ワイン事件発生
昭和61年	6月	●生鮮野菜等に発色・漂白目的で添加物を使用することの禁止が通達される
	8月	●横浜市内でヒメエゾボラのテトラミンによる食中毒が発生
	10月	●「神奈川県ふぐ取扱及び販売条例」改正、届出による「ふぐ加工製品」の販売が可能になる
昭和63年	1月	●シンチレーションサーベイメーターによる放射能測定検査開始 ●EDB暫定規制値改正(パパイヤ、サヤインゲンに加えて、マンゴーにも輸入・移送時の残留を認めない)
	2月	●いわゆる「背曲がりブリ」について取扱規制(場内業者あて通知)
平成元年	1月	●輸入ナシフグによると思われる食中毒が散発、厚生省が監視・検査の強化を通達
	3月	●チリ産ブドウのシアン混入事件発生
平成2年	4月	●米国で必須アミノ酸であるL-トリプトファン製造過程で不純物が混入したため利用者に健康障害が多発し、患者1500名、死者21名に達した
	10月	●井戸水を原因とする腸管出血性大腸菌による下痢症集団発生 ●洋菓子(ティラミス)によるサルモネラ食中毒事件散発
平成3年	8月	●千葉県と神奈川県でコレラ患者発生
平成4年	3月	●瀬戸内海及び三河湾産アサリが麻痺性貝毒で出荷自主規制
	4月	●広島産の生かきが麻痺性貝毒で出荷自主規制
	11月	●イマザリルが食品添加物として指定された
平成5年	2月	●ナシフグの輸入・販売が禁止された
	3月	●食肉製品規格基準改正
	4月	●中国産赤貝から麻痺性貝毒検出
	7月	●横浜市食品監視機動班発足
	9月	●農薬89種類の残留基準制定
	11月	●横浜市中でオゴノリによる食中毒発生(死亡者1名)
平成6年	8月	●中国・韓国産生うにの多くから腸炎ビブリオを検出、8月中の入荷を自主規制 ●輸入赤貝から相次いで着色料を検出

平成7年	2月	●米国産リンゴからTBZを検出
	5月	●食品添加物規制の見直し、残留農薬基準値策定の推進、営業許可の見直し等、食品衛生法の大改正
	9月	●国産・輸入ミネラルウォーターにプラスチック片などの異物混入
	10月	●輸入農産物を中心に残留農薬検査を開始
平成8年	3月	●中国産原料うに及びそのうにを使用したうに加工品からホウ酸を検出
	5～12月	●腸管出血性大腸菌O157による食中毒が全国的に発生し、感染者17,877名、健康保菌者1,475名、死者12名に達した
	5月	●乳類、一部の乳製品、食肉製品について総合衛生管理製造過程(HACCP)を経た製造の承認制度が始まる
平成9年	4月	●食品衛生検査施設における適正管理運営基準(GLP)が義務付けられる
	5月	●鮮魚への一酸化炭素の使用問題に対し、厚生省がマグロ、ブリ中の一酸化炭素の検査基準を通知
	6月	●東京都でマレーシア産オイスターソースからボツリヌスA型菌検出 ●大型原油輸送船ダイヤモンドグレース号座礁による東京湾原油流出事故発生
平成10年	6月	●東京都と富山県でイクラ醤油漬を原因とするO157による食中毒事件発生
平成11年	4月	●いか乾製品を原因とするサルモネラ・オラニエンブルグによる食中毒事件が全国的に発生
	10月	●茨城県東海村ウラン燃料加工施設で放射能漏れ事故が発生
		●容器包装に入れられた生食用かきに「採取海域」の表示が義務付けられた
	11月	●鶏卵に期限表示などの表示が義務付けられた
平成12年	2月	●横浜市の同一チェーン店でハンバーグステーキを原因とする腸管出血性大腸菌O157による食中毒事件が発生
	6～7月	●雪印乳業(株)大阪工場で製造された低脂肪乳を原因とする黄色ブドウ球菌による食中毒が発生し、発症者は8府県で約6,500名に達した
	7～8月	●全国的に食品に関する苦情件数が前年度を大きく上回った
平成13年	4月	●関東・東北地方で牛タタキ、ローストビーフを原因とする腸管出血性大腸菌O157による集団食中毒が発生する
	7月	●生食用鮮魚介類等の規格基準が設定され、成分規格、保存基準等が施行される
	9月	●千葉県で国内初のBSE感染牛が発見される。翌日より全国で全頭検査を開始
	11月	●西日本を中心に韓国産生カキによる赤痢感染が多発し、輸入禁止となる
平成14年	5月	●中国産冷凍ほうれん草による残留農薬違反が問題となる
	9月	●なし、リンゴ等の農産物に無登録農薬(カプタホール、シヘキサチン)が使用される
平成15年	5月	●食品安全基本法の制定、食品衛生法の大改正が行われる
	9月	●本場マグロ低温卸売場が稼動開始する
平成16年	4月	●横浜市食品衛生監視指導計画に基づく監視指導を開始する
	6月	●南部市場マグロ低温卸売場が稼動開始する
平成17年	7月	●本場冷凍・塩干低温売場が稼動開始する
平成18年	5月	●改正食品衛生法施行に伴いポジティブリスト制度スタート
	8月	●両市場検査所にガスクロマトグラフ質量分析計が導入される
	12月	●ノロウイルスによる食中毒が全国的に大発生する



平成19年	9月	●宮城県で生産された「いかの塩辛」により、腸炎ビブリオによる食中毒事件が全国で散発的に発生する(市内で発生した事件がこの発端となる)
	12月	●フグの不適切な取り扱いによる事故が多発したことから厚生労働省より指導強化の通知が出される
平成20年	1月	●中国産冷凍餃子から農薬メタミドホスが検出され、健康被害が発生する ●茨城県で除毒されていないフグを喫食したことによる死亡事件が発生する
	9月	●両市場検査所にリアルタイムPCR装置が導入される ●中国にて健康被害の原因であったメラミンが混入した食品が輸入される ●非食用に限定された事故米穀を、非食用であることを隠して転売していたことが発覚する
	10月	●中国産冷凍インゲンから農薬ジクロロボスが検出され、健康被害が発生する
平成21年	6月	●新型インフルエンザWHO 警戒水準フェーズ6 世界的流行(パンデミック)
	7月	●神奈川県食の安全・安心の確保推進条例施行(一部平成22年4月1日施行)
	10月	●賞味期限切れ冷凍うなぎ蒲焼きの賞味期限偽装事件が発覚する この冷凍うなぎ蒲焼きからマラカイトグリーンやロイコマラカイトグリーンが検出される
平成22年	4月	●宮崎県で牛の口蹄疫発生
	6月	●えび、かにのアレルギー表示義務化
平成23年	3月	●東日本大震災、福島第一原子力発電所事故の発生
	4月	●ユッケによる腸管出血性大腸菌食中毒事件が発生
	9月	●両市場検査所において食品中の放射性物質検査開始
	10月	●生食用食肉の規格基準が設定される
平成24年	4月	●食品中の放射性物資の基準値が設定される
	7月	●牛肝臓の生食用としての販売提供が禁止
	8月	●浅漬を原因とする腸管出血性大腸菌O157食中毒事件が発生
	10月	●両市場検査所において、ゲルマニウム半導体検出器を用いた放射性物質検査を開始
平成25年	10月	●大手ホテルやデパートの料理でメニューと異なる食材を使う虚偽表示問題が発覚
	12月	●冷凍食品から農薬マラチオンが検出され、健康被害が発生する
	12月	●和食がユネスコ無形文化遺産登録決定
平成26年	1月	●浜松市内の学校で給食のパンを原因とする大規模なノロウイルス食中毒が発生
	7月	●中国の食肉加工会社で期限切れ鶏肉等を日本へ供給していた問題が発生
	7月	●静岡市内で冷やしキュウリによる大規模な腸管出血性大腸菌 O157事件が発生
	12月	●全国的に食品へ異物混入事件が相次ぎ、製造者側では自主回収対応等を実施
平成27年	3月	●南部市場食品衛生検査所が閉所し、本場食品衛生検査所と統合
	4月	●食品表示法施行
	6月	●豚の肉や内臓を生食用として販売提供することが禁止

平成29年1月発行

食品衛生検査所事業概要

横浜市中央卸売市場

本場食品衛生検査所

〒221-0054

横浜市神奈川区山内町1番地

TEL045(441)1153